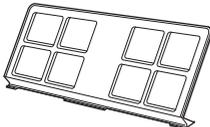
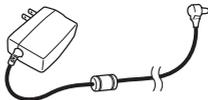


取扱説明書 (保証書別添) お読みになったあとも保証書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意 本機をお使いになる前に、必ず別紙の「安全上のご注意」をお読みください。

付属品一覧

 譜面立て	 楽譜集(1冊)	 ACアダプター: AD-E95100L	リーフ類 • カシオ電子楽器保証書 • 安全上のご注意 • アフターサービス窓口について • Appendix • その他
--	--	---	--

- 欠品、破損、紛失等の場合は、ご購入された販売店にお問い合わせください。(ACアダプター AD-E95100Lは別売品で購入可能)
- 付属品のデザインと内容は、予告なく変更されることがあります。

別売品のご案内

商品名	品番	商品名	品番
ヘッドホン	CP-16	スタンド	CS-4B
サステインペダル	SP-3		CS-7W
	SP-20	イス	CB-7
ACアダプター	AD-E95100L		CB-30
ソフトケース	SC-550B		

- カシオ電子楽器取扱店で購入可能。
- 店頭のカシオ電子キーボードカタログでより詳しい情報をご覧いただけます。
<http://casio.jp/emi/catalogue>

本書の内容について

- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また個人としてご利用になる場合は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書のイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

保証・アフターサービスについて

保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています

修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書に従って正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って取扱説明書等に記載の「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、取扱説明書等に記載の「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店までご連絡ください。

●保証期間が過ぎているときは

取扱説明書等に記載の「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

あらかじめご了承ください

- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。
また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
- 修理のとき、交換した部品を再生、再利用する場合があります。修理受付時に特段のお申し出がない限り、交換した部品は弊社にて引き取らせていただきます。
- 録音機能などのデータ記憶機能付きのモデルでは、修理のとき、故障原因の解析のため、データを確認させていただくことがあります。
- 日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内の「修理お申込み先」にご依頼ください。

アフターサービスなどについておわかりにならないときは

取扱説明書等に記載の「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

CEマーキングは、ヨーロッパ地域の基準適合マークです。



Manufacturer:
CASIO COMPUTER CO., LTD.
6-2, Hon-machi 1-chome, Shibuya-ku, Tokyo 151-8543, Japan

Responsible within the European Union:
Casio Europe GmbH
Casio-Platz 1, 22848 Norderstedt, Germany
www.casio-europe.com

ご使用上の注意

別紙「安全上のご注意」と併せてお読みください。

■設置上のご注意

本機を次のような場所に設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所、温度の高い場所。
- 極端に温度の低い場所。
- ラジオや、テレビ、ピアノ、チューナーに近い場所(これらを近くに置いた場合、本機には特に障害はありませんが、近くに置いたラジオやテレビの側に雑音や映像の乱れが起こることがあります)。

■本機のお手入れについて

- お手入れにベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は使わないでください。
- 鍵盤などのお手入れは柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞ってお拭きください。

■付属品・別売品

付属品や別売品は、本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の「ウエルドライン」と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

■音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のわからない音量でお楽しみください。窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

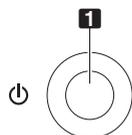
目次

全体ガイド	2	ミュージックプリセット	24
数字ボタン(24)、[-]/[+]ボタン(30)の使いかた	4	メロディーの音にハーモニーをつけてみよう (オートハーモナイズ)	25
[5] (戻る) ボタンの長押しについて	4	アルペジオのフレーズを自動的に鳴らす (アルペジエーター)	26
カテゴリーについて	5	コード(和音)の音を調べる(コードブック)	27
工場出荷時の状態に戻すには	5	設定を登録しよう(レジストレーション)	28
演奏の準備	5	登録する	29
譜面立ての準備	5	登録したデータ呼び出す	29
電源の準備	5	特定の設定項目を変更できないようにする (フリーズ機能)	29
演奏してみよう	6	演奏を録音してみよう(レコーダー)	30
電源を入れて演奏してみよう	6	演奏を録音・再生する	30
ヘッドホンを使う	7	演奏を重ねて録音する	30
鍵盤を押す強弱で音量を変える(タッチレスポンス)	7	トラックを消音する	31
液晶画面のコントラストを調整する	7	録音の待ち状態で、録音先を変える	31
メトロノームを使ってみよう	8	レッスン演奏を録音する	32
テンポ(速さ)を変えるには	8	曲を消去する	32
音を変えて弾いてみよう	9	特定のトラックを消去する	33
いろいろな楽器の音色で弾いてみよう	9	録音したデータを外部機器に保存する	33
2つ以上の音色を同時に鳴らす (レイヤー、スプリット)	9	機能ボタン(23)で機能設定する	34
音の響きを変えるには(リバーブ)	11	鍵盤の音律(スケール)を変えてみる	36
音に厚みをつけてみよう(コーラス)	11	液晶画面の鍵盤表示	36
音を補正してみよう(イコライザー)	11	本機に記録されているデータをまとめて消去する	37
ペダルを使ってみよう	12	他の外部機器と接続する	37
音の高さを変えて弾いてみよう(トランスポーズ、 チューニング、オクターブシフト)	12	パソコンとつなぐ	37
ソング(内蔵曲)を鳴らそう	13	各種 MIDI 設定	38
デモを聴いてみよう	13	本機のデータをパソコンに保存する / 本機のソングや自動伴奏を増やす	39
ソングを1曲ずつ聴いてみよう	14	オーディオ機器とつなぐ	39
ソングを増やす(ユーザーソング)	15	資料	40
ソング(内蔵曲)で曲をマスターしよう	16	困ったときは	40
練習するソング、パートを選ぶ	16	エラー表示一覧	41
らくらくモード	16	製品仕様	42
レッスン1~3をはじめよう	16	ソングリスト	44
ガイド無しで演奏してみよう	17	ドラム音色リスト	45
曲を分けて練習してみよう(レッスンフレーズ)	18	指定できるコード種一覧	50
レッスン中のさまざまな設定	18	コード例一覧	51
自動伴奏をバックに演奏しよう	20	MIDI インプリメンテーション・チャート	
リズムパートだけを鳴らそう	20		
すべてのパートを鳴らしてみよう	20		
自動伴奏を使いこなそう	22		
お勤めの音色やテンポにする (ワンタッチプリセット)	24		
リズムを増やす(ユーザーリズム)	24		

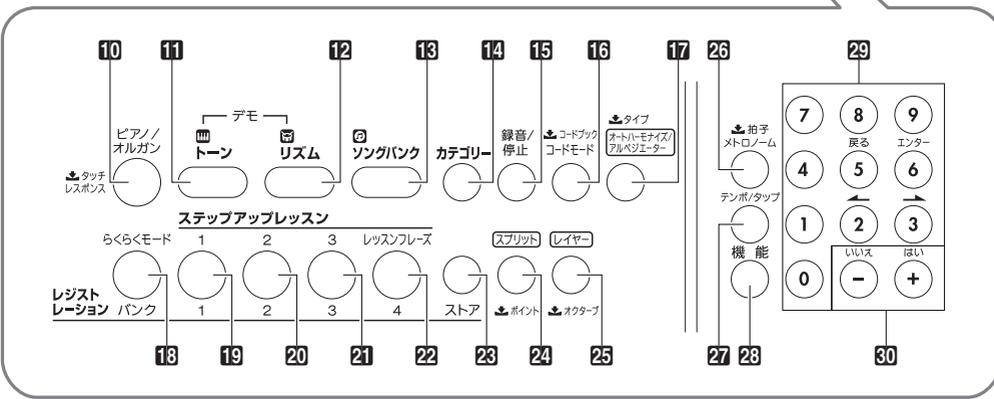
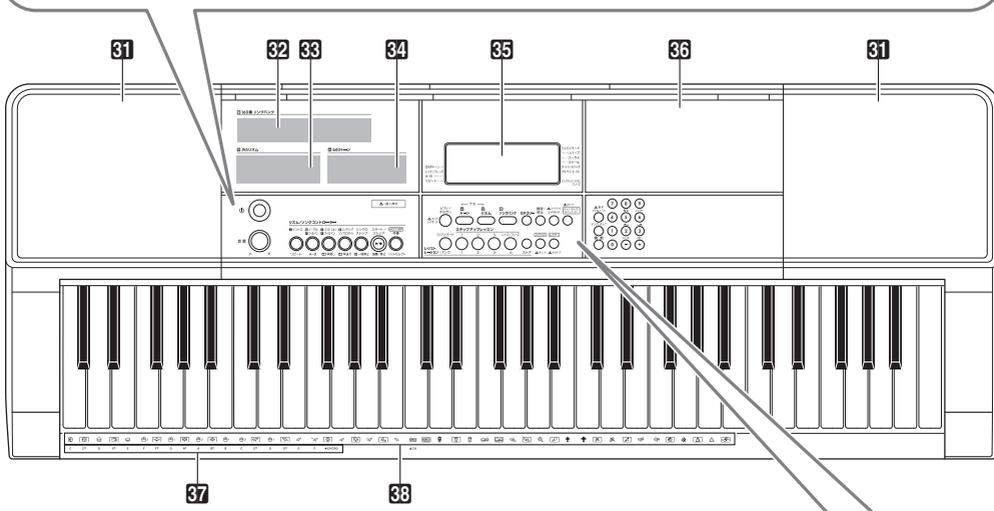
全体ガイド

製品本体、および以降のボタンの名称と一緒に記載されている、 というマークは、次の意味です。

 : そのボタンをしばらく押したままにしたときに、有効になる機能です。



リズム/ソングコントローラー

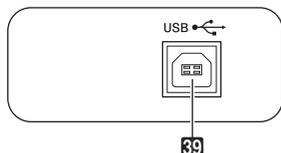


マークの数字は参照ページです。

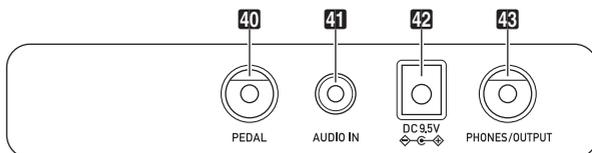
- 1 電源 ボタン 6
- 2 音量つまみ 6
- 3 イントロ、リピートボタン 15, 22
- 4 ノーマル フィルイン、A-Bボタン 22
- 5 バリエーション フィルイン、◀◀早戻しボタン 14, 22
- 6 エンディング/シンクロスタート、▶▶早送りボタン 14, 23
- 7 シンクロストップ、||一時停止ボタン 14, 23
- 8 スタート/ストップ、演奏/停止ボタン 8, 20
- 9 [ACCOMP] 伴奏、パートセレクト、↓ミュージックプリセットボタン 16, 20, 24
- 10 ピアノ/オルガン、↓タッチレスポンスボタン 7, 9
- 11 トーンボタン 9
- 12 リズムボタン 20
- 13 ソングバンクボタン 14
- 14 カテゴリーボタン 5
- 15 録音/停止ボタン 30
- 16 コードモード、↓コードブックボタン 27
- 17 オートハーモナイズ/アルペジエーター、↓タイプボタン 25, 26
- 18 らくらくモード、バンクボタン 16, 28

- 19 エリア1、ステップアップレッスン1ボタン 16, 28
- 20 エリア2、ステップアップレッスン2ボタン 17, 28
- 21 エリア3、ステップアップレッスン3ボタン 17, 28
- 22 エリア4、レッスンフレーズボタン 18, 28
- 23 ストアボタン 29
- 24 スプリット、↓ポイントボタン 10, 11
- 25 レイヤー、↓オクターブボタン 10, 13
- 26 メトロノーム、↓拍子ボタン 8
- 27 テンポ/タップボタン 8
- 28 機能ボタン 34
- 29 数字ボタン 4
- 30 -、+ボタン 4
- 31 スピーカー
- 32 ソングバンクリスト
- 33 リズムリスト
- 34 トーンリスト
- 35 液晶画面
- 36 小物台
 - 少し傾斜していますので、置いた物がすべり落ちないように注意してください。
 - コップなど液体の入ったものは置かないでください。
- 37 コードルート音名 20
- 38 打楽器イラスト 9

■背面部

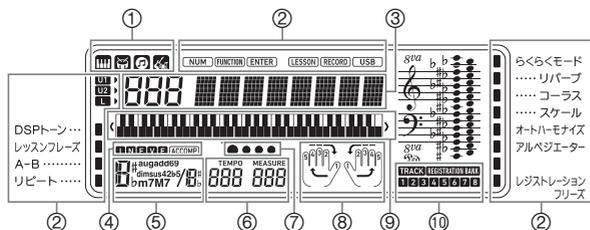


39 USB端子 38



- 40 ペダル PEDAL端子 12
- 41 オーディオ入力 AUDIO IN端子 39
- 42 電源端子 (DC 9.5V) 5
ヘッドホン / アウトプット
- 43 PHONES/OUTPUT端子 7, 39

■液晶表示部



- ① トーン/リズム/ソングバンク/
ミュージックプリセットインジケータ
 - ② 各種インジケータ
 - ③ 番号・設定値/名称表示
 - ④ IN F V E(自動伴奏の種類)インジケータ※/
ACCOMP(自動伴奏)インジケータ
 - ⑤ コード名表示
 - ⑥ テンポ・小節表示
 - ⑦ 拍表示
 - ⑧ パート・運指表示
 - ⑨ 鍵盤表示
 - ⑩ レジストレーションバンクインジケータ/
トラックインジケータ
- ※ I:イントロ、N:ノーマル、F:フィルイン、
V:バリエーション、E:エンディング

数字ボタン(29)、[-]/[+]ボタン(30)の使いかた



- 数値の入力中に、**28機能**を押すと入力中の値が選ばれます。
例: 音色番号010を選ぶ場合は、「1」→「0」→**28機能**
- 入力をキャンセルする場合は、数字ボタンの[5] (戻る)を長押しします。

メモ

- 液晶画面のNUMインジケータが消灯している場合は、数字ボタンの[0]を押してNUMインジケータを点灯させてから、数値を入力します。

[-]、[+]ボタン

[-]を押すと表示中の番号や数値が1減り、[+]を押すと1増えます。ボタンを押したままにすると、連続的に増減します。また、両方のボタンを同時に押すと初期値、またはお助めの数値になります。
負の値を設定できる項目の場合、入力中で数値が点滅している間に[-]を押すと、数値の先頭に「-」が追加され、負の値になります。数値が点滅している間に[+]を押すと、再び正の値になります。

[2] (←)、[3] (→)、[5] (戻る)、[6] (エンター) ボタン

液晶画面のNUMインジケータが消灯している場合、操作内容によっては、[2] (←)、[3] (→)、[5] (戻る)、[6] (エンター) ボタンが有効になります。

[5] (戻る) ボタンの長押しについて

機能ボタン(28)で各機能を設定したあと、設定を終了させるには、[5] (戻る) を長押しします。詳しくは34ページ「機能ボタン(28)で機能設定する」を参照してください。

数字ボタン

数字ボタンを押すと、選びたい番号や数値を入力できます。

1. 数字ボタンを押して、表示されている数値と同じ桁数を入力します。

例: 音色番号001を選ぶ場合は「0」→「0」→「1」と入力する。



カテゴリーについて

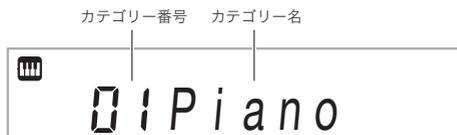
以下のモードのとき、現在選ばれているタイプのカテゴリー（グループ）を表示したり、カテゴリーを変更することができます。

- トーン
- リズム
- ソング
- ミュージックプリセット

カテゴリーを確認する

1. **[F4]**カテゴリーを押します。

[F4]カテゴリーを押すたびに、次のカテゴリーの先頭の番号が選ばれます。



- **[0]**[-]または[+]を押して、前/次のカテゴリーを選ぶこともできます。
- カテゴリーを表示している間しばらく何も操作しないと、元の画面に戻ります。

2. **[F2]**機能を押しして、元の画面に戻ります。

メモ

- 各モードのカテゴリーは、各リストのカテゴリー欄をご覧ください。
- **[F4]**カテゴリーを押しながら**[0]**[-]または[+]を押すと、カテゴリーの先頭の番号を直接選べます。

工場出荷時の状態に戻すには

本機のデータや設定などシステムの内容をすべて初期化して、工場から出荷したときの状態に戻すことができます。34ページ「機能ボタン**[F2]**で機能設定する」の機能番号68をご参照ください。

演奏の準備

譜面立ての準備



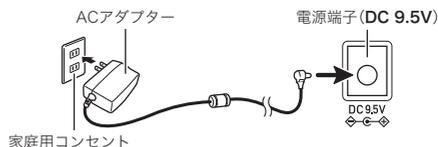
電源の準備

本機は電源としてACアダプターか乾電池をご使用できますが、基本的にはACアダプターをご使用されることをお勧めします。

ACアダプターを使う場合

本機指定のACアダプター（JEITA規格・極性統一形プラグ付き）を使用してください。他のACアダプターを使用すると故障の原因になることがあります。

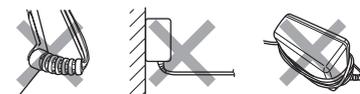
ACアダプターの型式: AD-E95100L
(JEITA Standard plug)



重要

- ACアダプターを差ししたり抜いたりする前に、必ず本機の電源を切ってください。
- 長時間ご使用になりますとACアダプターが若干熱をもちますが、故障ではありません。
- 断線防止のため、コードになるべく負荷がかからないようご注意ください。

折り曲げない 引っ張らない 巻きつけない



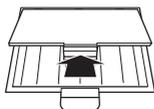
- 本機の電源端子 (DC 9.5V) に、金属片や鉛筆などを入れないようにご注意ください。これらが端子に入ると、事故の原因になります。

乾電池を使う場合

❗重要

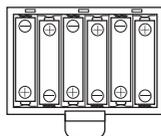
- 乾電池を入れる前に、必ず本機の電源を切ってください。
- 乾電池は市販の乾電池をご使用ください(オキシライド乾電池などのニッケル系一次電池は使用しないでください)。

1. 本機の裏側にある電池ブタをはずします。

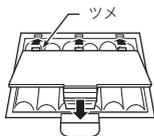


2. 市販の単3形乾電池、6本を電池ケースに入れます。

イラストに合わせて⊕⊖の向きを間違えないように入れてください。

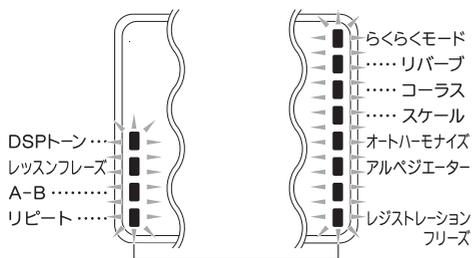


3. 電池ケースの穴にツメを差し込み、電池ケースのフタを閉じます。



■乾電池交換時期のお知らせ表示

乾電池が消耗してくると以下の表示が点滅しますので、新しい乾電池と交換してください。



乾電池交換サイン(点滅します)

演奏してみよう

電源を入れて演奏してみよう

1. **1** (電源) を押します。

電源が入ります。

- 電源を切るには、もう一度**1** (電源) を長押しします。

2. 鍵盤を弾いてみましょう。また**2** 音量で音量の調整をしましょう。



❗重要

- **1** (電源) を軽く押すと、液晶画面が一瞬点灯し、電源が入らない場合がありますが故障ではありません。その場合は**1** (電源) をしっかりと押し直してください。
- 本機の電源を切ると、音色やリズム番号などの各種設定が初期化されます。
- 液晶画面に“Wait...”または“Bye”が表示されているときは、本機の操作を一切行わないでお待ちください。これらのメッセージが表示されている間は、本機内部でデータの保存処理を行っています。このとき本機の電源が落ちると、本機に記録しているデータが破損・消失する恐れがあります。

メモ

- **1** (電源) ボタンで電源を切ったあとも、本機は微電流が流れているスタンバイ状態になっています。本機を長時間使用しないとき、あるいは落雷のおそれがあるときは、必ずACアダプターをコンセントから外してください。

オートパワーオフ機能

本機を使用中に30分間何も操作しないと、自動的に電源が切れます。

■オートパワーオフ機能をキャンセルして使う

コンサートなどで演奏の合間に電源が切れないよう、オートパワーオフ機能をキャンセルして使用できます。

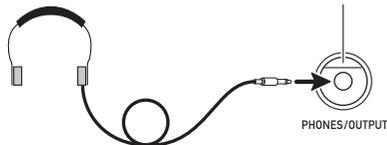
34ページ「機能ボタン(28)で機能設定する」の機能番号65をご参照ください。

ヘッドホンを使う

ヘッドホンを使用すると内蔵スピーカーから音が出なくなり、夜間でも周囲に気兼ねなく演奏が楽しめます。

- 本機の音量を絞ってから、ヘッドホンを接続してください。

PHONES/OUTPUT端子



メモ

- ヘッドホンは本製品に付属されておりません。
- 別売または市販のヘッドホンがご使用になれます。

重要

- 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害になる恐れがあります。
- ヘッドホンのコードを本機から抜くときは、変換プラグだけを本機に残さないようにご注意ください。

鍵盤を押す強弱で音量を変える (タッチレスポンス)

タッチレスポンス機能とは、鍵盤を押す強さ(速さ)で音量を変化させる機能です。タッチレスポンス機能を使うと本物のピアノのように鍵盤を押す強さ(速さ)で音量が変化し、演奏の表現が豊かになります。

タッチレスポンスの感度を変える

1. **10**ピアノ/オルガンを押し続けると、タッチレスポンスの設定値が以下の表のように変更されます。
 - その設定値で良ければ、**29**(数字ボタン)の[5](戻る)を押して設定を終了します。

設定値	設定の種類(表示)	内容	10 ピアノ/オルガン長押し後の設定値
1	オフ(Off)	タッチレスポンスを解除します。鍵盤を押す速度が変化しても音量は一定のままです。	オフになる直前に選択していた設定値(Light、Normal、Heavyのいずれか)
2	ライト(Light)	弱めに弾いても大きな音が出ます。	オフ
3	ノーマル(Normal)	標準的な設定です。	オフ
4	ヘビー(Heavy)	強めに弾いて、標準の音が出ます。	オフ

例：現在の設定がノーマルの場合

10ピアノ/オルガンを長押しすると、オフになります。その状態でもう一度**10**ピアノ/オルガンを長押しすると、ノーマルに戻ります。

2. **29**数字ボタン、**30**[-]または[+]を押して、タッチレスポンスの感度を変更します(4ページ)。

液晶画面のコントラストを調整する

1. **23**機能を押して、**29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“Other”と表示させます。

Other

2. **29**(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。
3. **29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“Contrast”と表示させます。

Contrast

4. **29**数字ボタン、**30**[-]または[+]を押して、コントラストを調整します(4ページ)。
 - コントラストの設定範囲は01 ~ 17です。

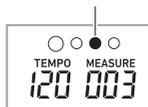
メトロノームを使ってみよう

メトロノームを使うと一定の間隔で音を刻みますので、演奏や練習のときにテンポを正しく保つことができます。自分にあったテンポで練習しましょう。

スタート/ストップ

1. **26**メトロノームを押します。
メトロノームがスタートします。

音にあわせて移動します



2. もう1回**26**メトロノームを押すと、メトロノームが止まります。

拍子を変える

曲の拍子に合わせて1拍目に「チーン」と鳴らし、それ以外の拍では「カチ」と鳴らすことができます。

- 拍子は、0～9拍子から選べます。

1. **26**メトロノームをしばらく押し続けます。
液晶表示が拍子を変更する表示になります。

Beat

2. **29**数字ボタン、**80**[-]または[+]を押して、拍子の数を入力します。
 - 0拍子 (Bell Off) を選ぶと「チーン」と鳴りません。拍子に気になさることなく練習したいときに使います。

メモ

- 機能ボタンで設定することもできます。34ページ「機能ボタン(**28**)で機能設定する」の機能番号11をご参照ください。

メトロノームの音量を変えるには

34ページ「機能ボタン(**28**)で機能設定する」の機能番号12をご参照ください。

テンポ(速さ)を変えるには

テンポ値(1分あたりの拍数)で調節する方法と、好みのテンポにあわせてボタンを連打する方法(タップ入力)の2種類があります。

■方法1:テンポ値でテンポを調節する

1. **27**テンポ/タップを押して、液晶画面に“Tempo”が表示されます。
2. **29**数字ボタン、**80**[-]または[+]を押して、テンポ値を調節します。
 - ボタンを押し続けると、連続して素早く切り替えることができます。
 - テンポ値は20～255の間で設定できます。
 - **27**テンポ/タップを長押しすると、現在選ばれているソングやリズム、ミュージックプリセットにおすすめのテンポに設定されます。
3. **23**機能を押して、元の画面に戻ります。

■方法2:ボタンを連打してテンポを決める(タップ入力)

1. 鳴らしたいテンポにあわせて**27**テンポ/タップを2回以上押します。
 - ボタンを押した間隔に応じたテンポになります。

2回以上押します



- まずこの方法でだいたい好みのテンポにしておいてから、前述の「方法1」で微調整をするなど、2種類の方法を組み合わせると便利です。

タップリズムスタート

オンにすると、**27**テンポ/タップボタンをタップしたテンポに合わせてリズムをスタートさせることができます。34ページ「機能ボタン(**28**)で機能設定する」の機能番号58をご参照ください。

音を変えて弾いてみよう

いろいろな楽器の音色で弾いてみよう

本機はバイオリン、フルート、オーケストラの楽器など、さまざまな楽器の音色で演奏ができます。同じ曲でも楽器の種類を替えて弾けば、さらに多彩な演奏が楽しめます。

演奏する楽器を決める

1. **[F]** トーンを押します。



2. **[2]** 数字ボタン、**[0]** [-] または **[+]** を押して、好きな音色を選びます。

- 数字ボタンで入力するときは、3桁で入力してください。

例: 001なら、“0”→“0”→“1”と入力します。

- 各カテゴリーの先頭の音色へジャンプしたい場合は、液晶画面に音色名が表示されているときに、**[4]** カテゴリーを押しながら **[0]** [-] または **[+]** を押します。

[M] メモ

- 音色の一覧は別紙「Appendix」をご覧ください。
- 本機には特殊なエフェクトがかかった音色 (DSP トーン) があります。DSP トーンを選んだ場合、液晶表示の DSP TONE インジケーターが点灯します。
- ドラムセットの音色が選ばれていると、鍵盤ごとにさまざまな打楽器が鳴ります。

3. 鍵盤を弾いてみましょう。

選んだ楽器の音色が出ます。



2つ以上の音色を同時に鳴らす (レイヤー、スプリット)

2つの音色を重ねて鳴らしたり (レイヤー)、鍵盤を左右に分けてそれぞれ異なる音色で演奏したり (スプリット) することができます。レイヤーとスプリットを組み合わせると、3つの音色を同時に使うこともできます。

単一で鳴らすときに使うパートを UPPER 1パート、2音色を重ねて鳴らすときの2つ目のパートを UPPER 2パート、鍵盤を左右に分けて鳴らすときの低音部に使うパートを LOWERパートと呼びます。

• 鍵盤全体で1つの音色を鳴らす (9ページ)

UPPER 1パートだけを使います (レイヤー オフ、スプリット オフ)。



• 鍵盤全体で2つの音色を重ねて鳴らす (10ページ)

UPPER 1パートと UPPER 2パートを同時に使います (レイヤー オン、スプリット オフ)。



• 鍵盤を左右に分けて、それぞれの鍵域で異なる1音色を鳴らす (10ページ)

UPPER 1パートと LOWERパートを同時に使います (レイヤー オフ、スプリット オン)。



• 鍵盤を左右に分けて、右側の鍵域では2つの音色を重ねて鳴らし、左側の鍵域では1音色を鳴らす (10ページ)

UPPER 1、UPPER 2、LOWERの3パートを同時に使います (レイヤー オン、スプリット オン)。



ピアノやオルガンの音色で弾く

[10] ピアノ/オルガンを押すと、本機をピアノやオルガンの音色で弾くのに適した状態にすることができます。**[10]** ピアノ/オルガンを押すごとに、ピアノ (音色番号001) とオルガン (音色番号079) が交互に切り替わります。

音色以外の設定も切り替わります。

例: リズム番号: ピアノの場合“176” (Pno8Beat)、
オルガンの場合“098” (S.Gospel)

メモ

- 音色を変更する対象のパートは、レイヤーをオンにするとUPPER2パートになり、スプリットをオンにするとLOWERになります。
- 音色を変更する対象パートを変えるには、一度**11**トーンを押して離してから、さらに**11**トーンを長押しして、液晶画面のパートインジケータの横にある[▶]を移動させます。希望の対象パートにインジケータが移動するまで、**11**トーンを長押しする操作を繰り返します。
- DSPトーンを複数のパートに設定した場合、UPPER2やLOWERパートに設定した音色のエフェクトが取れて音質が変わります。

2つの音色を重ねてみよう(レイヤー)

メモ

- 液晶画面のU2(レイヤー)、L(スプリット)のインジケータが点灯していることを確認します。点灯している場合は、それぞれを**25**レイヤー、**24**スプリットを押して、インジケータを点灯させます。

1. 2つの音色うち一方の音色を選びます。

11トーンを押してから、**29**数字ボタン、**30**[-]または[+]で音色を選びます。

例: 音色024 "ELEC.PIANO 1"を選ぶ。

2. **25**レイヤーを押します。

点灯します

3. **29**数字ボタン、**30**[-]または[+]で、もう一方の音色を選びます。

例: 音色187 "STRINGS"を選ぶ。



4. 鍵盤を弾いてみましょう。

選んだ2つの音色が重なって音が出ます。

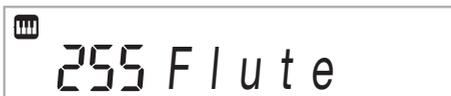
- もう一度**25**レイヤーを押すと、レイヤーがオフになります。

鍵盤の高音域と低音域で音色を変えてみよう(スプリット)

1. 右側の鍵盤の音色を選びます(9ページ)。

11トーンを押してから、**29**数字ボタン、**30**[-]または[+]で音色を選びます。

例: 音色255 "FLUTE"を選ぶ。

2. **24**スプリットを押します。

点灯します

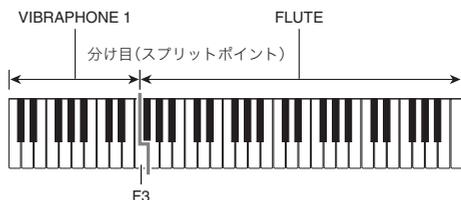
3. **29**数字ボタン、**30**[-]または[+]で、左側の鍵盤の音色を選びます。

例: 音色044 "VIBRAPHONE 1"を選ぶ。



4. 鍵盤を弾いてみましょう。

左右の鍵盤で選んだそれぞれの音が出ます。



- もう一度**24**スプリットを押すと、スプリットがオフになります。

メモ

- レイヤーをオンにしているときにスプリットをオンに設定すると、右側の鍵盤だけがレイヤーの状態で演奏できるようになります。

音色の分け目を変える(スプリットポイント)

1. **24**スプリットを手順2.の操作が終わるまで押し続けます。
現在スプリットポイントに設定されている鍵盤名が液晶画面に表示されます。
2. 音色の分け目の鍵盤を押します。
押した鍵盤が右側鍵盤の一番低い音の出る鍵盤になります。
例：中央のド(C4鍵)を指定した場合

鍵盤名が表示されます

C4

音の響きを変えるには(リバーブ)

1. **23**機能を押して、**29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“Reverb”と表示させます(4ページ)。
2. **30**[-]または[+]を押して、リバーブのタイプを選びます。リバーブのタイプは下記の表のとおりです。

Reverb

設定値	設定の種類
1	Off
2~6	Room1~5
7~8	Large Room1~2
9~13	Hall1~5
14~15	Stadium1~2
16~17	Plate1~2
18~19	Delay1~2
20	Church
21	Cathedral

音に厚みをつけてみよう(コーラス)

コーラスとは音に厚みや広がりを加える機能のことです。

1. **23**機能を押して、**29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“Chorus”と表示させます(4ページ)。

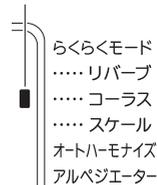
Chorus

2. **30**[-]または[+]を押して、コーラスのタイプを選びます。
コーラスのタイプは1~11を選びます。

設定値	設定の種類
1	Tone
2~7	Chorus1~6
8~11	Flanger1~4

- 設定番号1の“Tone”を選んだ場合、各音色に設定されたコーラスが選ばれます。

“Tone”のときは消灯します



- コーラス効果は音色によって差があります。

音を補正してみよう(イコライザー)

本機の音質を調整できます。34ページ「機能ボタン(**28**)で機能設定する」の機能番号21をご参照ください。

設定値	表示	内容
1	Standard	通常の設定
2	Bass +	低音を強調します。
3	Treble +	高音を強調します。
4	Loudness	全体の音を強くします。
5	Mellow	柔らかい印象の音にします。
6	Bright	明るい印象の音にします。
7	Rock	ロックに最適な音にします。
8	Dance	ダンスに最適な音にします。
9	Jazz	ジャズに最適な音にします。
10	Classic	クラシックに最適な音にします。

ペダルを使ってみよう

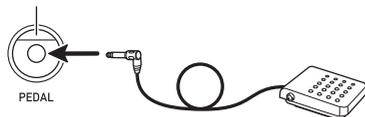
ペダルで演奏にさまざまな変化がつけられます。

- ペダルは本製品に付属されておりません。お買い求めの販売店で別途ご購入ください。

ペダルの接続

ペダル(別売品)を接続してください。

④0 PEDAL端子



ペダルの効果を選ぶ

- ②③機能を押し、②⑨(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“Other”と表示させます。

Other

- ②⑨(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。

Pedal

- ②⑨(数字ボタン)、③①[-]または[+]を押して、ペダル効果の種類を選びます(4ページ)。

- ペダル効果の種類は下記の表のとおりです。

設定値	設定の種類 (表示)	内容
1	サステイン (Sustain)	ペダルを踏んでいる間は弾いた音の余韻が長くなります。オルガンのような音色にすると、ペダルを踏んでいる間ずっと音が鳴り続けます。
2	ソステヌート (Sostenut)	鍵盤を押してからその鍵盤を離す前にペダルを踏むと、その音にだけサステインと同じ効果がかかります。
3	ソフト (Soft)	ペダルを踏んでいる間に弾いた音を若干小さくします。
4	リズム/ソング (Rhy/Song)	自動伴奏やソングの開始・停止を行います。

音の高さを変えて弾いてみよう
(トランスポーズ、チューニング、
オクターブシフト)

半音単位で変える(トランスポーズ)

トランスポーズ機能とは、音の高さを半音単位で全体的に上げたり下げたりする機能です。同じ鍵盤を弾いても、実際に出る音の調(キー)を歌う人の声の高さに合わせて移調して演奏することができます。

- トランスポーズの設定範囲は上下1オクターブ(-12から+12半音まで)です。

- ②③機能を押しします。

Trans.

- ③①[-]または[+]を押して、移調するキーを決めます。

音の高さを微調整する(チューニング)

チューニング機能とは、音の高さを全体的に少しだけずらす機能です。

- チューニング機能では、A4の音の周波数を設定します。周波数の設定範囲は415.5~465.9Hz(初期値440.0Hz)です。
- 0.1Hz単位で変更することができます。

- ②③機能を押し、②⑨(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“Tune”と表示させます。

Tune

- ②⑨(数字ボタン)、③①[-]または[+]を押して、チューニングを調節します(4ページ)。

- 数字ボタンでは、整数部の値だけを入力できます。小数点第一位を変更する場合は、[-]または[+]ボタンを押します。

440.0Hz

オクターブ単位で変える(オクターブシフト)

それぞれのトーンパート(9ページ)について、鍵盤の音の高さをオクターブ単位で上げたり下げたりできる機能です。

- 設定範囲は上下3オクターブです。

- 下記の液晶画面になるまで、**25**レイヤーを押し続けます。

A rectangular LCD display showing the text "0 U1 Oct." in a monospace font. The "0" is on the left, "U1" is in the middle, and "Oct." is on the right.

- 29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って、音の高さを変更したいトーンパートを選びます。

- 30**[-]または[+]を押して、オクターブ単位で高さを調整します。

A rectangular LCD display showing the text "2 U2 Oct." in a monospace font. The "2" is on the left, "U2" is in the middle, and "Oct." is on the right.

メモ

- 選択した音色によっては、オクターブシフトが自動的に変更される場合があります。詳細は、別紙「Appendix」の音色リストのキーオクターブシフト欄をご覧ください。

ソング(内蔵曲)を鳴らそう

ソング(SONG)とはふつう「歌」のことを意味しますが、本機では曲データのことを指します。ソングを鳴らして聴いてみましょう。また、曲を聴くだけでなく曲に合わせて練習することもできます。

メモ

- 本機にはソングを自動演奏させて鑑賞する機能だけでなく、自分で弾くための練習をサポートするレッスンシステム(16ページ)もあります。
- パソコンでソングを増やす(39ページ)こともできます。

デモを聴いてみよう

- 10**トーンと**12**リズムを同時に押します。

1曲目のデモ曲が終了すると、2曲目以降はソングバンク曲が連続再生されます。

- デモ演奏中は、**30**[-]または[+]で曲を変更できません。
- 曲目は44ページをご参照ください。

点滅します



- デモを終了するには**8**演奏/停止を押します。

8演奏/停止を押すまでデモの全曲目を繰り返します。

メモ

- オートパワーオフ機能(6ページ)を有効にしている場合、何も操作しないと、電源が30分で切れます。オートパワーオフ機能をキャンセルするには、6ページの「オートパワーオフ機能をキャンセルして使う」をご参照ください。

ソングを1曲ずつ聴いてみよう

本機に内蔵されているソングの中から好きな曲を選んで聴くことや、外部機器から自分で増やした曲も聴くことができます。また、ソングに合わせて弾くこともできます。

スタート/ストップ

1. **13** ソングバンクを押します。
2. **29** 数字ボタン、**80** [-] または [+] を押し、好きなソング番号を選びます。
 - ソングの一覧は44ページをご参照ください。
 - 数字ボタンで入力するときは、3桁で入力してください。

例: 001なら、“0”→“0”→“1”と入力します。
036なら、“0”→“3”→“6”と入力します。

 - 各カテゴリーの先頭のソングヘジャンプしたい場合は、液晶画面にソング名が表示されているときに、**14** カテゴリーを押しながら **80** [-] または [+] を押しします。

■内蔵曲の「脳にキク」について

ソングの111~160番は、指のトレーニングのための曲集です。脳の活性化の効果も期待できます。



- 脳の活性化には個人差があります。
- 本機は医療機器ではありません。

3. **8** 演奏/停止を押します。
ソング再生がスタートします。
4. もう一度 **8** 演奏/停止を押すと、ソング再生を途中で止めることができます。
ソングは **8** 演奏/停止を押すまでリピート再生します。
リピートを解除するには **8** リピートを押します。



オフのときは消灯します

一時停止、早送り、早戻し

音楽プレーヤーのように、ソングの一時停止や早送り・早戻しができます。

■一時停止

1. **7** **||** 一時停止を押します。
ソング再生を一時停止します。
2. もう一度 **7** **||** 一時停止を押すと、停止したところからソング再生を再開します。

■早送り

1. **6** **>>** 早送りを押します。
ソングを早送りします。**6** **>>** 早送りを1回押すと1小節先に進みます。押し続けると連続して小節を進めます。



小節数

■早戻し

1. **5** **<<** 早戻しを押します。
ソングを早戻しします。**5** **<<** 早戻しを1回押すと1小節戻ります。
押し続けると連続して小節を戻します。

曲の小節間を繰り返す(リピート)

上手に演奏できないフレーズを何度も繰り返し練習してみましょう。繰り返したい箇所のはじめの小節と終わりの小節を指定します。



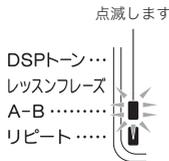
1. **3** リピートを押して、曲のリピートをオンにします。

- フレーズをリピートさせない場合は、リピート機能をオフにしてください。



2. 曲の再生中に、**4** A-Bを押してリピートするはじめる小節を指定します。

4 A-Bを押したときの小節冒頭が指定されます。



3. リピートしたいところまで曲が進んだら、もう一度**4** A-Bを押して終わりの小節を指定します。

4 A-Bを押したときの小節末尾が指定され、指定した小節間をリピート再生します。



- リピート再生中に**7** **||**一時停止、**6** **▶**早送り、**5** **◀**早戻しを押すと、リピート部分の一時停止、早送り、早戻しができます。

4. もう一度**4** A-Bを押すと、通常の演奏に戻ります。ソング番号を変えるとリピート内容は消去されます。



速さ(テンポ)を変える

難しいフレーズはソング再生の速さ(テンポ)を変えて練習してみましょう。

8ページ「テンポ(速さ)を変えるには」をご参照ください。

音量(ソングボリューム)を変える

自分で弾く音量とソング再生の音量のバランスを変えてみましょう。

34ページ「機能ボタン(28)で機能設定する」の機能番号9をご参照ください。

ソングの音と同じ音色で弾いてみる(トーン・シンク機能)

鍵盤の音色をソングと同じ音色にして、一緒に弾いてみましょう。

- 液晶画面の音色名がそのソングの音色名に変わるまで、**18** ソングバンクを押し続けます。
 - ソングの音色と同じ音色が選ばれているときは、液晶画面の音色名は変わりません。
- ソング再生に合わせて弾いてみましょう。

メモ

- 右手と左手で違う音色を使っているソングは、右手パートと同じ音色で弾けるようになります。

ソングを増やす(ユーザーソング)

お好きな曲をパソコンから本機のソング番号161 ~ 170(ユーザーソング)に読み込んで、再生やレッスン(16ページ)をすることができます。「本機のデータをパソコンに保存する/本機のソングや自動伴奏を増やす」(39ページ)をご参照ください。

メモ

- 本機に保存したソングデータを消去する方法は32ページをご参照ください。

ソング(内蔵曲)で曲をマスターしよう

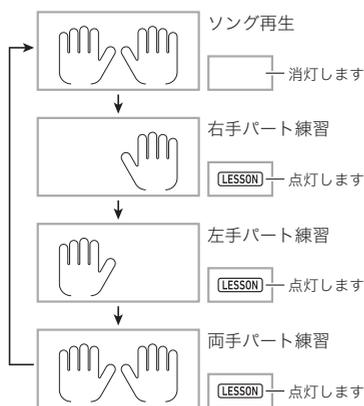
本機でソングを練習するには、下記の方法があります。

- らくらくモード(16ページ)
- ステップアップレッスン(16ページ)
- ガイド無し演奏(17ページ)

練習するソング、パートを選ぶ

最初に、練習するソング、パートを決めましょう。レッスンするパートを右手、左手、両手から選べます。最初から両手で弾くことが難しい場合は、パートを片手ずつ選んでレッスンしてみましょう。

1. 練習するソングを選びます(14ページ)。
2. **9**パートセレクトを押して、練習するパートを選びます。
9パートセレクトを押すたびに、下記のようにパート選択が切り替わります。
 - パート選択の状態によって、液晶表示のパートアイコンとLESSONインジケーターの点灯状態が変わります。



メモ

- ソング再生中は**9**パートセレクトを押してもレッスンに変わりません。
- レッスン中に**9**パートセレクトを押した場合、ソング再生の状態は選ばれません。
- 選んだパートの音だけが液晶画面の鍵盤に表示されます。
- 両手パート練習では指番号の音声ガイドは鳴りません。

3. 液晶画面の音色名がそのソングの音色名が変わるまで、**18**ソングバンクを押し続けます。
鍵盤の音がソングと同じ音色になります(15ページ)。

メモ

- 任意で指定した区間を繰り返しレッスンできます。15ページ「曲の小節間を繰り返す(リピート)」を参照してください。

らくらくモード

好きなタイミングでどれかひとつの鍵盤を次々と押せば、ソングのメロディーが鳴ります。初心者でも簡単に演奏を楽しんだり、鍵盤を弾くタイミングを覚えることができます。

1. 練習するソングを選びます(14ページ)。
2. **9**パートセレクトを押して、練習するパートを選びます。
3. **18**らくらくモードを押します。
 - カウントの後、(前奏のある曲は前奏に続き)1音目の待機状態になります。
4. 鍵盤のいずれか1つを続けて押して、演奏してみましよう。
 - カウント中および前奏中は、液晶画面上で初めに押さえる鍵盤が点滅します(演奏中は次に押さえる鍵盤が点滅します)。弾くタイミングになると、ガイドは点滅から点灯に変わります。
 - 伴奏は、次の鍵盤を押さえるまで待ってください。
5. らくらくモードを止めるには、**18**らくらくモード(または**8**スタート/ストップ、演奏/停止)を押します。

レッスン1~3をはじめよう

1曲を弾けるようになるまで、3段階に分けて練習することができます。

- レッスン1: お手本の演奏を聴く
- レッスン2: 表示のガイドを見ながら弾く
- レッスン3: これまでの練習を思い出して弾く



レッスン1、お手本の演奏を聴く

まずは、お手本の演奏を何度も聴いて曲を覚えましょう。

1. **19**ステップアップレッスン1を押します。
お手本の演奏がはじまります。
2. お手本の演奏を止めたい場合は**19**ステップアップレッスン1(または**8**演奏/停止)を押します。

レッスン2、表示のガイドを見ながら弾く

ソングを弾いてみましょう。液晶画面にこれから弾く鍵盤が表示されます。また、音声で指使いの番号をガイドします。ガイドに合わせて鍵盤を弾く練習をしましょう。間違えて押しても大丈夫です。正しい鍵盤を弾くまで曲の再生が一時停止してくれます。あせらずゆっくり弾いてみましょう。

1. 20ステップアップレッスン2を押します。

レッスン2がはじまります。

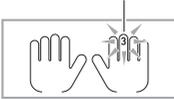
2. 液晶画面表示と音声でガイドがはじまりますので、ガイドに合わせて鍵盤を弾く練習をしましょう。

液晶画面表示にはこれから弾く鍵盤がガイドされます。また、音声で指使いの番号をガイドします。



点滅します

点滅します



<レッスン2のガイドについて>

ガイドを参考にどの鍵盤をどの指で弾くのかを覚えて、タイミングを合わせて弾きます。



弾くタイミングがすぎても正しい鍵盤を弾かないと、曲が一時停止します

- 鍵盤表示と運指表示が点滅から点灯に変わります。
- 正しい鍵盤を音でガイドします。
- 音声で指使いの番号をガイドします。



正しい鍵盤を弾くと、曲演奏が再開され、次の鍵盤が点滅ガイドされます。

3. レッスン2を止めたい場合は20ステップアップレッスン2(または8演奏/停止)を押します。

- 最後まで弾くとレッスン2の採点結果が表示されます。

Bravo!	合格です。次のレッスンへ進みましょう。
Again!	もう一度トライしましょう。

メモ

- 外部機器から読み込んで増やしたソング(15ページ)では、指使いの番号はガイドされない場合があります。

レッスン3、これまでの練習を思い出して弾く

正しい鍵盤を弾くまで曲が停止したままになる点はレッスン2と同じですが、次に弾く鍵盤の事前のガイドがありません。レッスン2までの練習を思い出しながら弾いてみましょう。

1. 21ステップアップレッスン3を押します。

レッスン3がはじまります。

2. 曲に合わせて弾きます。

<レッスン3のガイドについて>

レッスン2で覚えた鍵盤を弾きます。



弾くタイミングがすぎても正しい鍵盤を弾かないと、曲が一時停止します。



しばらく正しい鍵盤を弾かないと、レッスン2と同様のガイドが出ます。



正しい鍵盤を弾くと、曲演奏が再開されます。

3. レッスン3を止めたい場合は21ステップアップレッスン3(または8演奏/停止)を押します。

- 最後まで弾くとレッスン2と同様に、レッスン3の採点結果が表示されます。

ガイド無しで演奏してみよう

レッスン1、2、3で弾けるようになったら、最後に自動演奏に合わせて1曲弾いてみましょう。

1. 9パートセレクトを押してレッスンするパートを選んで、8演奏/停止を押します。

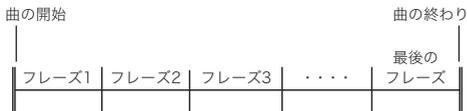
ガイド無しで止まらずに弾いてみましょう。

曲を分けて練習してみよう (レッスンフレーズ)

ステップアップレッスンとガイド無し演奏では、曲全体をいくつもの短い楽節(フレーズ)に分けて練習することができます。

フレーズについて

本機に内蔵されている曲は、あらかじめ練習用のフレーズに分けられています。



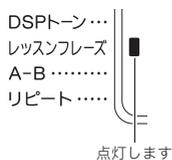
メモ

- 外部機器から読み込んで増やしたソング(15ページ)は、練習用のフレーズに分けられていない場合があります。これらのソングをフレーズに分けて練習したい場合は、19ページの「フレーズの長さを変える」をご参照ください。

曲を分けて練習する

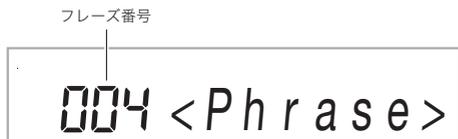
1. **[2]** レッスンフレーズを押します。

- レッスンフレーズ機能がオンになります。



2. **[5]** ◀早戻し、**[6]** ▶早送りを押してレッスンしたいフレーズを選びます。

- [5]** ◀早戻しで1つ前のフレーズ、**[6]** ▶早送りで次のフレーズを選べます。



選ばれたフレーズの最初の小節

3. ステップアップレッスン(16ページ)またはガイド無し演奏(17ページ)を始めます。

- 選んだフレーズのレッスンが始まります。

4. レッスンフレーズ機能をオフするには、もう一度 **[2]** レッスンフレーズを押します。

- レッスンフレーズ機能がオフになります。

レッスン中のメッセージ表示について

メッセージ	内容
<Phrase>	フレーズを選んだときや、レッスンを開始したときなどに表示されます。 • ただし一部のフレーズでは<Phrase>の代わりに下記の<Wait>が表示される場合があります。
<Wait>	ソングの前奏や間奏などの、練習する音符が含まれていないフレーズのレッスンを開始したときに表示されます。このフレーズでは再生が終わると自動的に次のフレーズに進みますので、鍵盤を弾かずに待ってください。

レッスン中のさまざまな設定

指番号の音声ガイドを消す

レッスン2、レッスン3での音声による指使い番号ガイドをオフにできます。

1. **[2]** 機能を押して、**[29]** (数字ボタン)の[2] (←)または[3] (→)を使って液晶画面に“Lesson”と表示させます。



2. **[29]** (数字ボタン)の[6] (エンター)を押します。

3. **[29]** (数字ボタン)の[2] (←)または[3] (→)を使って液晶画面に“Speak”と表示させます。



4. **[30]** [-]を押して、オフに設定します。

弾くべき音のガイドを消す

レッスン2、レッスン3での弾くべき音が鳴るガイドをオフにできます。

1. **28**機能を押して、**29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“Lesson”と表示させます。
2. **29**(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。
3. **29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“NoteGuid”と表示させます。

NoteGuid

4. **30**[-]を押して、オフに設定します。

採点結果の表示を出さないようにする

レッスン2、レッスン3、ガイド無し演奏で表示される採点結果の表示機能をオフにできます。

1. **28**機能を押して、**29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“Lesson”と表示させます。
2. **29**(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。
3. **29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“Scoring”と表示させます。

Scoring

4. **30**[-]を押して、オフに設定します。

フレーズの長さを変える

練習用のフレーズに分けられていない曲をフレーズに分ける際の長さを設定できます。

1. **28**機能を押して、**29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“Lesson”と表示させます。
2. **29**(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。
3. **29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“PhraseLn”と表示させます。

PhraseLn

4. **29**(数字ボタン)、**30**[-]または[+]を押して、フレーズの長さを選びます。

設定値	内容
1	1小節で1フレーズ
2	2小節で1フレーズ
3	3小節で1フレーズ
4	4小節で1フレーズ
5	5小節で1フレーズ
6	6小節で1フレーズ
7	7小節で1フレーズ
8	8小節で1フレーズ

伴奏を簡単にするには

伴奏音を簡単にして、レッスン音を聴き取りやすくします。34ページ「機能ボタン(28)で機能設定する」の機能番号42をご参照ください。

パートチャンネルを設定する

パートチャンネルとは以下の機能で使われるパートに関する情報です。また、パートチャンネル情報がない曲の場合はここでの設定が使われます。

- トーン・シンク機能(15ページ「ソングの音と同じ音色で弾いてみる(トーン・シンク機能)」)
- レッスン機能(16ページ)

34ページ「機能ボタン(28)で機能設定する」の機能番号59、60をご参照ください。

自動伴奏をバックに演奏しよう

自動伴奏機能とは、お好みの伴奏リズムを選び、左手でコード(和音)を押すだけで、選んだリズムにぴったりの伴奏が自動に鳴る機能です。1人でもアンサンブル演奏をお楽しみいただけます。

メモ

- 自動伴奏で鳴るパート(楽器)には、下記の3種類があります。
 - リズム(打楽器)
 - ベース(低音楽器)
 - ハーモニー(さまざまな楽器)

(1)だけを鳴らしたり、(1)~(3)の全楽器を同時に鳴らすこともできます。

リズムパートだけを鳴らそう

リズム(打楽器)は自動伴奏の土台となる重要なパートです。本機には8ビートやワルツなどさまざまな種類のリズムが内蔵されていますので、まずは基本となるリズムパートだけを聴いて、それに合わせて弾いてみましょう。

リズムパターンの選択とスタート/ストップ

1. **12**リズムを押します。



2. **20**数字ボタン、**80**[-]または[+]で好きなリズム番号を選びます。

- リズムの種類は別紙「Appendix」をご覧ください。
- 数字ボタンで入力するときは、3桁で入力してください。
例: 001なら、「0」→「0」→「1」と入力します。
- 各カテゴリーの先頭のリズムへジャンプしたい場合は、液晶画面にリズム名が表示されているときに、**14**カテゴリーを押しながら**80**[-]または[+]を押します。

3. **8**スタート/ストップを押します。

リズムがスタートします。



4. リズムに合わせて弾きましょう。

5. もう一度**8**スタート/ストップを押すとリズムがストップします。

すべてのパートを鳴らしてみよう

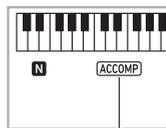
コードを付けて伴奏する

左手でコードを押さえると、選んだリズムにベースやハーモニーを加えた伴奏が自動的に演奏されます。1人で演奏してもバンド演奏のように楽しく演奏できます。

1. リズムをスタートさせます。

2. **9**[ACCOMP]伴奏を押します。

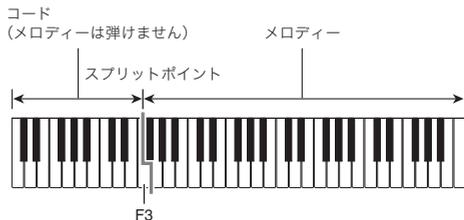
左側の鍵盤でコードを入力できる状態になります。



点灯します

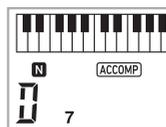
3. コード入力鍵盤でコードを押さえます。

ベースやハーモニーなど、リズムパート以外の楽器も鳴りはじめます。



例) コード入力鍵盤の「レ・ファ・ラ・ド」を押さえる。

「レ・ファ・ラ・ド」の和音(コード:D7)で伴奏が鳴ります。



メモ

- スプリットポイントを変更して、コード入力鍵盤の範囲を変えることができます(11ページ)。
- 左手でいろいろなコードを押さえて、右手でメロディーを弾きましょう。
 - もう一度**9**[ACCOMP]伴奏を押すと、リズムだけの伴奏に戻ります。

コードの入力方法の選択

コードの入力方法は、以下の6種類から選べます。

- カシオコード
- フィンガード1
- フィンガード2
- フィンガードオンベース
- フィンガードアシスト
- フルレンジコード

1. **16** コードモードを押します。

2. **30** [-] または [+] を押して、コード入力方法を選びます。

■カシオコードについて

簡単な指使いで次の4種類のコードを演奏できます。



コードの種類

メジャーコード

コード名と同じ音名の鍵盤を1つ押します(コード入力鍵盤の範囲内であれば、1オクターブ違う同音でもかまいません)。

例: C(Cメジャー)



マイナーコード

メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより右の鍵盤を1つ押します。

例: Cm(Cマイナー)



セブンスコード

メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより右の鍵盤を2つ押します。

例: C7(Cセブンス)



マイナーセブンスコード

メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより右の鍵盤を3つ押します。

例: Cm7(Cマイナーセブンス)



メモ

- 2つ目以降の鍵盤は、1つめより右側なら白鍵・黒鍵を問わずでも使用できます。

■フィンガードについて

これらは、コード構成音のままに鍵盤を押さえて入力する方法です(一部のコードでは構成音を省略して、1~2鍵でも入力できます)。

入力できるコードの種類と鍵盤の押さえかたについては、50ページ「指定できるコード種一覧」をご覧ください。



●フィンガード1

コードの構成音の鍵盤を押さえます。



●フィンガード2

フィンガード1とは違い、6thの入力はできません。m7、m7⁵の入力ができます。



●フィンガードオンベース

フィンガード1とは違い、一番低い鍵盤の音をベース音として分数コードが入力できます。



●フィンガードアシスト

2 鍵押し、3 鍵押しの場合、フィンガード1と異なります。ルートキーとルートキーより左側の白鍵を押さえると7thコード、ルートキーより左側の黒鍵を押さえるとmコード、両方押さえるとm7コードになります。

5 Fg Assist

●フィンガード1の押さえ方に加えて、3種類のコードを次の手順で演奏できます。

コードの種類

マイナーコード

メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより左の最も近い黒鍵を押します。

例: Cm(Cマイナー)



セブンスコード

メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより左の最も近い白鍵を押します。

例: C7(Cセブンス)



マイナーセブンスコード

メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより左の最も近い黒鍵と白鍵を押します。

例: Cm7(Cマイナーセブンス)



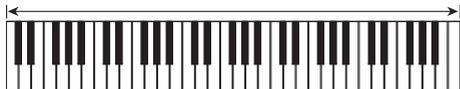
■フルレンジコードについて

すべての鍵盤でコードの入力とメロディー演奏ができます。

6 Full Range

入力できるコードの種類については、50ページ「指定できるコード種一覧」をご覧ください。

コード入力・メロディー鍵盤



自動伴奏を使いこなそう

自動伴奏に変化をつけて演奏する

自動伴奏にメリハリをつけて演奏できます。気の利いたイントロから入る、サビ前をぐっと盛り上げる、おしゃれなエンディングをつけるなど、自動伴奏をさまざまに彩る演出機能を使いこなしましょう。

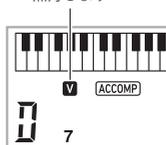
■バリエーション(伴奏パターンの変形)

ノーマルパターン(基本)の演奏を変化させたバリエーションパターンです。基本パターンとは一味違った演出ができます。

1. 5 バリエーション フィルインを押します。

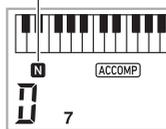
バリエーションパターンがスタートします。

点灯します



2. 4 ノーマル フィルインを押すと、ノーマルパターンの演奏に戻ります。

点灯します



■イントロ(前奏)

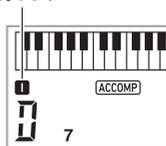
数小節のイントロを入れます。

1. 3 イントロを押します。

イントロがスタートします。イントロ演奏の後、通常のパターン演奏になります。

- イントロ演奏中に5 バリエーション フィルインを押した場合は、イントロ終了後にバリエーションパターン演奏になります。

点灯します



■変化フレーズ(フィルイン)

曲の途中にフィルインを入れます。

- フィルインとは、曲調の切れ目に入れる短いフレーズのことです。メロディーとメロディーのつながり目やアクセントとして使ったとき、とても華やかな演奏になります。
- ノーマル、パリエーションのそれぞれに違ったフィルインパターンがあります。

●ノーマル・フィルイン

1. ノーマルパターン演奏中に、**4** ノーマル フィルインを押します。

ノーマルパターンのフィルインが演奏されます。

- フィルイン終了後にノーマルパターン演奏に戻ります。



●パリエーション・フィルイン

1. パリエーションパターン演奏中に、**5** パリエーション フィルインを押します。

パリエーションパターンのフィルインが演奏されます。

- フィルイン終了後にパリエーションパターン演奏に戻ります。



■エンディング(終わり)

数小節のエンディングパターンを入れます。

1. 自動伴奏の演奏中に、**6** エンディング/シンクロスタートを押します。

エンディングパターンが演奏され、自動的に伴奏が停止します。



■シンクロスタート(演奏と同時に伴奏をスタートする)

鍵盤を押すタイミングと同時に、伴奏をスタートさせることができます。

1. **6** エンディング/シンクロスタートを押します。

伴奏スタート待機の状態になります。



2. 鍵盤でコードを押さえます。

同時にフルパート伴奏(ノーマル)がスタートします。

シンクロ待機中に以下の操作をしておくと、ノーマル以外のパターンで開始できます。

- イントロからはじめたいとき→**3** イントロを押します。
- パリエーションからはじめたいとき→**5** パリエーション フィルインを押します。

■シンクロストップ

伴奏鍵盤からすべての指を離すと、自動伴奏と同時にリズムを止められます。また、自動伴奏が終わると、シンクロスタートが自動的に待機状態になります。

1. **7** シンクロストップを押して、液晶画面の左手インジケータの点灯/消灯を切り替えます。



■テンポ(速さ)を変える

8ページ「テンポ(速さ)を変えるには」をご参照ください。

■自動伴奏の音量を変える

自分で弾く音量と自動伴奏の音量のバランスを変えてみましょう。

34ページ「機能ボタン(28)で機能設定する」の機能番号8をご参照ください。

お勧めの音色やテンポにする (ワンタッチプリセット)

ワンタッチプリセットとは、リズムパターンごとにそのリズムによく合った音色やテンポを、ワンタッチで呼び出すことができる機能です。

1. 液晶画面表示が音色の表示になるまで、**[12]**リズムをしばらく押し続けます。
鍵盤の音色やテンポなどが現在選択されているリズムに対応した設定にセットされます。

2. 鍵盤でコードを押さえて演奏します。
伴奏も同時にスタートします。

リズムを増やす(ユーザーリズム)

お好きなリズムをパソコンから本機のリズム番号196～205(ユーザーリズム)に読み込んで、再生することができます。「本機のリズムデータをパソコンに保存する/本機のソングや自動伴奏を増やす」(39ページ)をご参照ください。

■本機に保存したリズムデータを消去するには

1. 消去したいリズムを選びます。
2. **[15]**録音/停止を押し続けます。
“Sure?”と表示されます。
3. **[30]**[+] (はい)を押します。
リズムが消去されます。
キャンセルするには、**[30]**[-] (いいえ)を押します。

ミュージックプリセット

さまざまなジャンルや曲の演奏に適した音色番号やリズム番号、コード進行などをワンタッチで設定します。

- プリセットのリスト(310種類)は、別紙「Appendix」を参照してください。

1. **[12]**リズムを押します。



2. **[9]**[ACCOMP]伴奏を長押しします。
 - ACCOMPインジケーターが点滅して、コード進行の再生ができる状態になります。
3. **[29]**数字ボタン、**[30]**[-]または[+]を押して、プリセット番号を選びます。
音色やリズムなどの適した設定が呼び出されます。
 - 自動伴奏のシンクロスタート待機中になります(23ページ)。
 - 各カテゴリーの先頭のミュージックプリセットへジャンプしたい場合は、液晶画面にプリセット名が表示されているときに、**[14]**カテゴリーを押しながら**[30]**[-]または[+]を押します。
4. 自動伴奏にあわせて曲を弾いてみましょう。
 - 自動伴奏を停止するには、**[8]**スタート/ストップ、または**[6]**エンディング/シンクロスタートを押します。
 - ミュージックプリセットを終了するには、**[9]**[ACCOMP]伴奏を押します。ただし、音色やリズムは選んだミュージックプリセットの設定のままです。

コード進行のキーを変えたい場合 (キーシフト機能)

34ページ「機能ボタン(**[28]**)で機能設定する」の機能番号61をご参照ください。

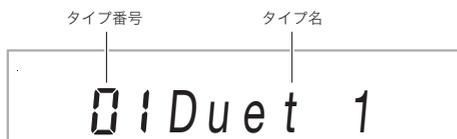
メロディーの音にハーモニーをつけてみよう(オートハーモナイズ)

右手で弾いているメロディーに適したハーモニーを自動でつけます。メロディーに厚みをつけて演奏してみましょう。12種類のオートハーモナイズのタイプから演奏に合ったタイプを選んでみましょう。

メモ

- オートハーモナイズ機能は、アルペジエーター(26ページ)と同じボタン**17**オートハーモナイズ/アルペジエーターで操作します。2つの機能を同時に使うことはできません。

- 17**オートハーモナイズ/アルペジエーターを長押しし、**29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“BtnAssign”を表示させます。
- 30**[-]または[+]を押して、“A.Har.”を選びます。
- 29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“AHarType”と表示させます。
- 30**[-]または[+]を押して、オートハーモナイズのタイプを選びます。



設定値	タイプ名	内容
01	Duet 1	演奏したメロディーの下に、クローズな(2~4度ほど離れた)ハーモニーを1音加えます。
02	Duet 2	演奏したメロディー音の下に、オープンな(4~6度以上離れた)ハーモニーを1音加えます。
03	Country	カントリーの演奏に適したハーモニーを加えます。
04	Octave	1オクターブ下の音を加えます。
05	5th	5度上の音を加えます。
06	3-Way Open	2声(演奏したメロディーと合わせて3声)のオープンハーモニーを加えます。
07	3-Way Close	2声(演奏したメロディーと合わせて3声)のクローズハーモニーを加えます。
08	Strings	ストリングス演奏に適したハーモニーを加えます。
09	4-Way Open	3声(演奏したメロディーと合わせて4声)のオープンハーモニーを加えます。
10	4-Way Close	3声(演奏したメロディーと合わせて4声)のクローズハーモニーを加えます。
11	Block	ブロックコード音を加えます。
12	Big Band	ビッグバンド演奏に適したハーモニーを加えます。

- 17**オートハーモナイズ/アルペジエーターを押してオートハーモナイズをオンにします。

左手でコードを弾きながら右手でメロディーを弾くと、メロディーの音にハーモニーが加わります。

- もう一度**17**オートハーモナイズ/アルペジエーターを押すと、オートハーモナイズがオフに戻ります。



オンのとき点灯します

アルペジオのフレーズを自動的に鳴らす (アルペジエーター)

アルペジエーターを使うと鍵盤で押さえている音が、アルペジオ(分散和音)になって自動的に演奏されます。100種類のアルペジオタイプから演奏する曲に合ったアルペジオを選んでみましょう。

メモ

- アルペジエーター機能は、オートハーモナイズ(25ページ)と同じ**17**オートハーモナイズ/アルペジエーターで操作します。2つの機能を同時に使うことはできません。

- 17**オートハーモナイズ/アルペジエーターを長押しし、**29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“BtnAssign”を表示させます。
- 30**[-]または[+]を押して、“Arpeg.”を選びます。
- 29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“Arp Type”と表示させます。
- 30**[-]または[+]を押して、タイプを選びます。
 - アルペジオタイプの詳細は、別冊「Appendix」をご参照ください。



- 17**オートハーモナイズ/アルペジエーターを押してアルペジエーターをオンにします。

鍵盤で和音を押さえると、アルペジオが鳴りはじめます。

- もう一度**17**オートハーモナイズ/アルペジエーターを押すと、アルペジエーターがオフに戻ります。



オンのとき点灯します

メモ

- テンポの変更はメトロノームのテンポを変える操作と同じです(8ページ)。
- 液晶画面に“Arp Type”と表示されているときに**17**オートハーモナイズ/アルペジエーターボタンを長押しすると、選択しているタイプに応じたお好みの音色になります。

アルペジオを鳴らし続ける

和音を押さえている指を鍵盤から離れた後も、アルペジオが鳴り続けるようにすることができます。

34ページ「機能ボタン(**23**)で機能設定する」の機能番号18をご参照ください。

コード(和音)の音を調べる (コードブック)

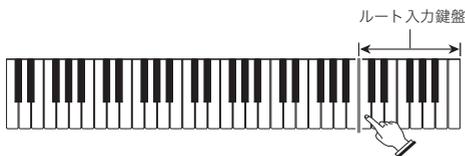
楽譜のコードネームを見て、コードの構成音や鍵盤の押さえ方が分からないときに、本機能を使って調べることができます。ルート・コードタイプ・転回形を設定すると、構成音が表示され発音します。また、調べたコードで自動伴奏を鳴らしたり、自動伴奏で鳴らしているコードをコードブックに反映したりできます。

1. 液晶画面に“Root”と表示されるまで、**[16]**コードモードを押し続けます。

0 | Root

2. **[80]**[-]または[+]や、下記のルート入力鍵盤で、調べたいコードのルート音(根音)を指定します。

例: Cを選ぶ場合



ルート音

0 | C

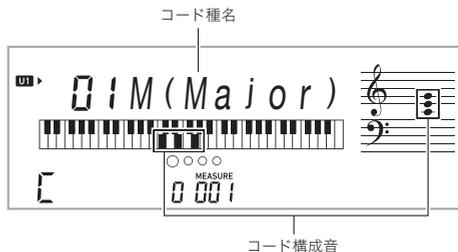
3. **[29]**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って、液晶画面に“Type”を表示させます。

0 | Type

4. **[80]**[-]または[+]を押して、コードの種類を選びます。

選んだコードの音が鳴り、コード種名と構成音が液晶画面に表示されます。

- もう一度、構成音を鳴らしたい場合は**[29]**の[6](エンター)を押します。
 - 構成音は、Upper1パートで設定されている音色で鳴ります。**[16]**コードモードを長押しすると、最適な音になります(音色がピアノ、トランスポーズが0になる)。
- 例: M(メジャー)を選んだ場合



- コードの種類は、下記のなかから選ぶことができます。

M(Major), m(minor), dim, aug,^{♯5}, sus4, sus2, 7th, m7, M7, mM7, dim7, dimM7, 7^{♯5}, m7^{♯5}, M7^{♯5}, aug7, augM7, 7sus4, 6th, m6, add9, madd9, 69, m69

- 転回形を表示させるには、**[29]**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って、液晶画面に“Invert”を表示させてから、**[80]**[-]または[+]を押します。

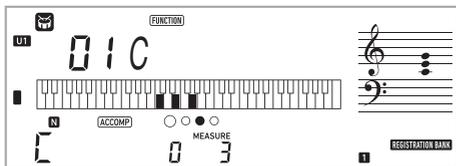
設定値	内容
0	基本形
1	第一転回形
2	第二転回形
3	第三転回形
4	第四転回形

5. 調べ終わったら、**[29]**(数字ボタン)の[5](戻る)を押して、コードブックを終了します。

コードブックで調べたコードを自動伴奏で鳴らしてみる

1. **18**コードモードを押してコードブック機能に入る前に、20ページ「自動伴奏をバックに演奏しよう」でリズムを選んで、**9** [ACCOMP]伴奏を押します。
2. コードブック機能でルートとタイプを設定します。
 - 構成音がコード入力鍵盤に収まるように、転回形を変更してみましょう。
 - 液晶画面の“N”インジケーターが点滅し、シンクロスタートの待機状態になります。
3. 表示されている構成音をコード入力鍵盤で押さえます。
 - 自動伴奏がスタートし、コードブックで選んだコードが鳴ります。

例：Cの構成音を押して、自動伴奏を鳴らす



コード入力鍵盤



- コードブックで表示される結果が異なった場合は、構成音とコードの関係についてさらに調べてみましょう。

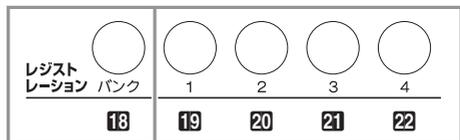
メモ

- コードブック中は、スプリットポイントはF#3、コードモードはフィンガード1に設定されます。

設定を登録しよう (レジストレーション)

レジストレーション機能を使うと、音色やリズムなどの設定を一つのセットとして登録できます。さらにその設定はすぐに呼び出すこともできます。また、登録したデータを呼び出すときに、呼び出したくない内容を設定することができます（フリーズ機能）。演奏中に次々と音色やリズムを切り替えていくような曲にもチャレンジしてみましょう。

設定内容は32セットまで登録できます。セットを選ぶには**18**バンク、およびエリア**19**1～**22**4を使います。



	エリア 1	エリア 2	エリア 3	エリア 4
バンク1	セット1-1	セット1-2	セット1-3	セット1-4
バンク2	セット2-1	セット2-2	セット2-3	セット2-4
...
バンク8	セット8-1	セット8-2	セット8-3	セット8-4

- **18**バンクを押すごとに、バンク1～8の間で切り替わりません。
- エリア**19**1～**22**4のいずれかのボタンを押すと、現在選択されているバンクに対応したエリアを選択できます。

■登録できる内容

- 音色番号(メイン、レイヤー、スプリット)
- リズム番号
- テンポ
- オートハーモナイズ(オン/オフ、タイプ)
- トランスポーズ
- スプリットポイント
- タッチレスポンス
- オクターブシフト
- コード入力方式
- 伴奏の音量
- アルペジエーター(オン/オフ、タイプ)
- シンクロスタート
- リバープ(オン/オフ、タイプ)
- コーラス(オン/オフ、タイプ)
- アカンプ(オン/オフ)
- アルペジエーターホールド(オン/オフ)
- レイヤー(オン/オフ)
- スプリット(オン/オフ)
- ペダルの効果
- スケール

登録する

1. **12**リズムを押します。



2. 音色やリズム番号などを、登録したい内容に設定します。

3. **18**バンクを押して、登録するバンクを選びます。 **18**バンクを押すごとに、バンク番号が切り替わります。



- **18**バンクを押したあとの3秒間は**29**(数字ボタン)や**30**[-]または[+]を押してバンクを選ぶこともできます。

4. **23**ストアを押しながら登録したいエリア**19**1~**22**4を押します。

手順2で設定した内容がひとつのセットとして登録されます。

- 新しく登録をすると、以前にそのエリアに登録されていた内容は消去されます。

セット4-1として登録した場合



登録したデータを呼び出す

1. **18**バンクを押して、呼び出したいバンクを選びます。



2. 呼び出したいエリア**19**1~**22**4を押します。

登録されているセット内容が呼び出され、音色やテンポなどが自動的に切り替わります。

セット6-1を呼び出した場合



特定の設定項目を変更できないようにする(フリーズ機能)

エリア1~4ボタンで登録したデータを呼び出すと、呼び出されるすべての項目が上書きされます。フリーズ機能を使えば、登録したデータの呼び出しの際に、特定の項目の上書きを禁止することができます。

1. **18**バンクを長押しすると、フリーズ機能のオン/オフが切り替わります。



■フリーズ設定できる項目

- トーン
- リズム
- オートハーモナイズ/アルペジオーター
- テンポ
- ペダル
- トランスポーズ
- スケール
- スプリットポイント
- エフェクト

登録したデータを呼び出すときに上書きしたくない項目を設定するには

34ページ「機能ボタン(**23**)で機能設定する」の機能番号27をご参照ください。

■登録したデータを外部機器に保存するには

「本機のデータをパソコンに保存する/本機のソングや自動伴奏を増やす」(39ページ)をご参照ください。

メモ

- オクターブシフト(13ページ)の設定を変えているデータを呼び出した場合、弾いている鍵盤の音が消えることがあります(ペダルで延ばしている音は鳴り続けます)。

演奏を録音してみよう (レコーダー)

自分の演奏した曲を録音して再生できます。演奏をそのまま録音したり、レッスン演奏を片手ずつ録音できます。また、自動伴奏を使った演奏も録音でき、重ねて別の鍵盤演奏を録音することもできます。

録音した内容は、ソングバンクの171~176番(ユーザー録音)に保存されます。172~176番には自分の演奏した曲を、171番には曲のレッスン演奏を録音できます。

演奏を録音・再生する

弾いたそのままに演奏を録音してみましょう。録音した内容は、ソングバンクの172~176番に保存されます。

1. **[F2]**リズムを押します。

2. **[F5]**録音/停止を押します。

録音の待機状態になります。



- 録音待機状態から抜けるには、**[F5]**録音/停止を数回押して、液晶画面上のRECORDインジケータを消灯させてください。

3. 音色やリズムの番号などを設定します。

4. 演奏をはじめます。

鍵盤を弾きはじめると、同時に録音が始まります。



メモ

- 自動伴奏を開始すると、自分の演奏と一緒に自動伴奏も録音することができます。
- 録音できる残り音符数が100以下になると、手順2の液晶画面の点滅が速くなります。
- 録音できる曲数は、最大5曲です。
- 1曲に録音できる音符数は、最大約40,000音符です。

5. 録音を終了するには、**[F5]**録音/停止を押します。



6. **[F8]**演奏/停止を押すと録音した演奏の再生をします。

[F8]演奏/停止を押すたびに再生と停止を繰り返します。

重要

- 録音中に本機の電源がオフになると、録音した内容は消去されます。
- 新しく録音すると、以前に録音した内容は消去されます。
- システムの制約上、使用する音色や自動伴奏、リバーブ、コーラスの設定によっては、録音時と再生時で音の鳴り方が変わる場合があります。

演奏を重ねて録音する

自動伴奏を含む鍵盤演奏を録音するトラック1の他に、別の鍵盤演奏を重ねて録音できるトラックが5つあります。

■録音トラックについて

各パートを録音するための記録部分をトラックといいます。トラックには1から6があります。

- トラック番号を設定しないで録音すると、トラック1に録音されます。

鍵盤演奏の他に以下が記録できます。

・トラック1に記録できる内容

音色番号、リズム番号、リズムコントローラー、自動伴奏の音量、テンポ、拍子、リバーブ設定、コーラス設定、コード演奏、レイヤー演奏、スプリット演奏、オートハーモナイズ/アルペジエーター演奏、スケール設定、オクターブシフト設定、ペダル操作

・トラック2~6に記録できる内容

音色番号、アルペジエーター演奏、オクターブシフト設定、ペダル操作

トラック1~6に録音する

1. **[F18]**ソングバンクを押します。

2. **[29]**数字ボタン、**[80]**[-]または[+]を押して、演奏を重ねたい曲を選びます。

3. **[F15]**録音/停止を押します。

"Rec Trk"と表示されます。



- 録音待機状態から抜けるには、**[F5]**録音/停止を数回押して、液晶画面上のRECORDインジケータを消灯させてください。

4. **[80]**[-]または[+]を押して、次に録音するトラック番号を選びます。

選んだトラックが録音待機状態になります。

例: トラック2を選んだ場合



- トラック1と違う音色で録音したい場合は、**[F11]**トーンを押してから**[29]**(数字ボタン)で音色番号を入力します。

5. 8演奏/停止を押します。

先に録音したトラック1の再生がはじまります。同時に録音がはじまりますので、再生に合わせて演奏をしましょう。

- トラックの先頭から演奏を録音したい場合は、**15録音/停止**を押してから演奏を始めます。

**6. 演奏が終わったら 15録音/停止を押します。**

- **8演奏/停止**を押すと録音した演奏の再生をします。
- **8演奏/停止**を押すごとに再生と停止を繰り返します。

**7. 手順3~6を繰り返して他のパートを録音します。****8. すべてのパートの録音が終わったら 8演奏/停止を押します。**

- 録音したトラックの再生がはじまります。**8演奏/停止**を押すごとに再生と停止を繰り返します。

トラックを消音する

録音したトラックを消音して他のトラックの録音や再生をすることができます。

1. 18ソングバンクを押します。**2. 29数字ボタン、30[-]または[+]を押して、録音した曲を選びます。****3. 9パートセレクトを押します。**

"Trk1Mute"と表示されます。

4. 29(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を押して消音したいトラックを選びます。**5. 30[+]を押すとトラックが消音します。音を出す場合は30[-]を押します。**

- 消音中はトラックインジケータのトラック番号が消灯します。
- 録音していないトラックのトラック番号は常に消灯します。

6. 29(数字ボタン)の[5](戻る)を押します。**録音の待ち状態で、録音先を変える****録音するトラックを変える**

- 気軽に新規でソロ・トラック録音したい場合(例えば、最初にドラムを録音したい、など)
- 録音するトラックの選択を間違えたので変更したい場合

1. 15録音/停止を押し続けます。

"Rec Trk"と表示されます。

2. 29数字ボタン、30[-]または[+]で、録音したいトラックを選びます。**3. 29(数字ボタン)の[5](戻る)を押します。**

先に録音したトラックを再生させた後に演奏を録音したい場合は、**8演奏/停止**を押してから、再生させて合わせて演奏します。

録音する曲番号を変える

- 気楽に録音の待ち状態にしたいくで録音する曲番号は自分で選びたい場合
- 録音する曲番号の選択を間違えたので変更したい場合

1. 15録音/停止を押し続けます。

"Rec Trk"と表示されます。

2. 29(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を押して"MitRec 1"を選びます。**3. 29数字ボタン、30[-]または[+]を押して録音したい曲番号を選びます。****4. 29(数字ボタン)の[5](戻る)を押します。**

先に録音したトラックを再生させた後に演奏を録音したい場合は、**8演奏/停止**を押してから、再生させて合わせて演奏します。

レッスン演奏を録音する

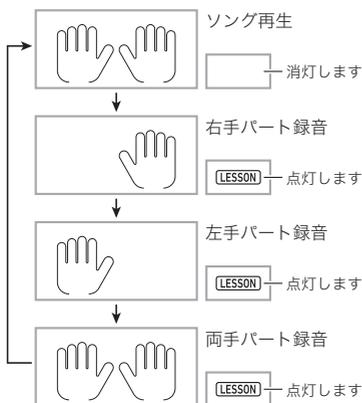
曲に合わせて演奏して、それを録音することができます。録音した内容は、ソングバンクの171番に保存されます。

- 鍵盤演奏のほかに以下の操作や設定も記録できます。
音色番号、テンポ、リバーブ設定、オクターブシフト設定、ペダル操作

メモ

- 曲と一緒に録音できるのは1曲です。新しく録音すると、前に録音したデータは消去されます。

1. **18** ソングバンクを押します。
2. **29** 数字ボタン、**80** [-] または [+] を押し、録音したい曲番号を選びます。
3. **9** パートセレクトを押して録音するパートを選びます。



- 音色やテンポも設定しておきます。

4. **15** 録音/停止を押します。

録音の待機状態になります。



- 録音待機状態から抜けるには、**15** 録音/停止を数回押し、液晶画面上のRECORDインジケータを消灯させてください。

5. **8** 演奏/停止を押すと、曲の再生と録音が始まります。

再生に合わせて演奏しましょう。



- 録音を途中で止めるには **8** 演奏/停止を押します。

6. 曲の再生が終了すると、録音も自動的に終了します。

再生の待機状態になります。

7. **8** 演奏/停止を押します。

録音した演奏の再生が始まります。

- **8** 演奏/停止を押すことに再生と停止を繰り返します。

曲を消去する

1. **18** ソングバンクを押します。
2. **29** 数字ボタン、**80** [-] または [+] で、消去したい曲を選びます。
3. **15** 録音/停止を押し続けます。
4. **29** (数字ボタンの) [2] (←) または [3] (→) を押し、"Song Clr" を選びます。
5. **29** (数字ボタンの) [6] (エンター) を押します。
"Sure?" と表示されます。
6. **80** [+] (はい) を押します。
曲が消去されます。
キャンセルするには、**80** [-] (いいえ) を押します。

特定のトラックを消去する

1. **10** ソングバンクを押します。
2. **20** 数字ボタン、**00** [-] または [+] で、消去したいトラックのある曲を選びます。
3. **10** 録音/停止を押し続けます。
4. **20** (数字ボタン) の [2] (←) または [3] (→) を押して、“Trk Clr” を選びます。
5. **20** 数字ボタン、**00** [-] または [+] を押して、消去したいトラックを選びます。
6. **20** (数字ボタン) の [6] (エンター) を押します。
“Sure?” と表示されます。
7. **00** [+] (はい) を押します。
トラックが消去されます。
キャンセルするには **00** [-] (いいえ) を押します。

録音したデータを外部機器に保存する

録音したデータをパソコンに保存することができます。「本機のデータをパソコンに保存する/本機のソングや自動伴奏を増やす」(39ページ)をご参照ください。

機能ボタン(28)で機能設定する

音量や音程をはじめ、さまざまな機能設定を変更できます。

機能を選ぶには

1. 28機能を押します。

液晶画面にFUNCTIONインジケータが点灯します。

2. 29(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を押して機能を選びます。

- サブメニューのある機能を選んだ場合は、さらに数字ボタンの[6](エンター)を押して、[2](←)または[3](→)でサブメニューを選びます。
- サブメニューを選んでおるときに[5](戻る)を押すと、1つ前のメニューに戻ります。
- 選んだ機能の詳細については、以下の表に書かれた参照ページをご参照ください。

3. 29(数字ボタン)、30[-]または[+]を押して、設定値を変更します。

- 29(数字ボタン)を使う場合は、数字ボタンの[0]を押してNUMインジケータを点灯させてから、数値を入力します。

4. 29(数字ボタン)の[5](戻る)を長押しして、設定を終了します。

液晶画面のFUNCTIONインジケータが消灯します。

機能番号	機能名	表示	設定値	初期値	参照ページ
1	トランスポーズ	Trans.	-12~12	0	12
2	オクターブシフト	Octave			12
3	トーンパートUpper1のオクターブシフト	U1 Oct.	-3~3	0	12
4	トーンパートUpper2のオクターブシフト	U2 Oct.	-3~3	0	12
5	トーンパートLowerのオクターブシフト	L Oct.	-3~3	0	12
6	スプリットポイント	Split Pt	36~96	54	11
7	タッチレスポンス	Touch	1~4	3	7
8	自動伴奏の音量	AcompVol	0~127	115	23
9	ソングの音量	Song Vol	0~127	127	15
10	メトロノーム	Metronom			8
11	メトロノームの拍子	Beat	0~9	4	8
12	メトロノームの音量	Volume	0~127	127	8
13	コードモード	ChordMod	1~6	2	20
14	オートハーモナイズ/アルペジエーター	AHar/Arp			25
15	オートハーモナイズ/アルペジエーターボタンの割り当て	BtnAssign	1, 2	1	25
16	オートハーモナイズタイプ	AHarType	1~12	1	25
17	アルペジエータータイプ	Arp Type	1~100	1	26
18	アルペジエーターホールド	ArpegHld	オン/オフ	オフ	26
19	リバーブ	Reverb	1~21	11	11
20	コーラス	Chorus	1~11	1	11
21	イコライザー	Equalizr	1~10	1	11
22	プリセットスケール	Scale			36
23	プリセットスケールのタイプ	Type	1~17	1	36
24	プリセットスケールのルート	Root	1~12	1	36
25	自動伴奏スケール	AcompScl	オン/オフ	オフ	36
26	チューニング	Tune	415.5~465.9	440.0	12

機能番号	機能名	表示	設定値	初期値	参照ページ
27	レジストレーションメモリーフリーズターゲット	RMFrzTgt			29
28	リズム	Rhythm	オン/オフ	オン	29
29	テンポ	Tempo	オン/オフ	オン	29
30	トーン	Tone	オン/オフ	オフ	29
31	スプリットポイント	Split Pt	オン/オフ	オフ	29
32	オートハーモナイズ/アルペジエーター	AHar/Arp	オン/オフ	オフ	29
33	トランスポーズ	Trans.	オン/オフ	オフ	29
34	スケール	Scale	オン/オフ	オフ	29
35	ペダル	Pedal	オン/オフ	オフ	29
36	エフェクト	Effect	オン/オフ	オフ	29
37	レッスン	Lesson			18
38	運指音声	Speak	オン/オフ	オン	18
39	弾くべき音のガイド	NoteGuid	オン/オフ	オン	19
40	採点	Scoring	オン/オフ	オン	19
41	フレーズの長さ	PhraseLn	1~8	4	19
42	伴奏の簡易化	PlainAcc	オン/オフ	オフ	19
43	コードブック	Chord Bk			27
44	コードのルート	Root	1~12	1	27
45	コードのタイプ	Type	1~25	1	27
46	コードの転回形	Invert	0~コードのタイプによる	0	27
47	MIDI	MIDI			38
48	キーボードチャンネル	Keybd Ch	1~16	1	38
49	ナビゲート	Navigate			38
50	ナビゲート機能のオンオフ	Action	オン/オフ	オン	38
51	右手ナビゲートチャンネル	R Ch.	1~16	4	38
52	左手ナビゲートチャンネル	L Ch.	1~16	3	38
53	ナビゲート機能でのレッスン	Lesson	1~4	1	38
54	ローカルコントロール	Local	オン/オフ	オン	38
55	アコンプアウト	AcompOut	オン/オフ	オフ	38
56	その他	Other			
57	ペダルの効果	Pedal	1~4	1	12
58	タップリズムスタート	Tap Rhy	オン/オフ	オフ	8
59	右手(メロディ)パートチャンネル	PartR Ch	1~16	4	19
60	左手パートチャンネル	PartL Ch	1~16	3	19
61	ミュージックプリセットのキー変更	MP Key	-5~6	0	24
62	センターキャンセル(ボーカルカット)	C Cancel	オン/オフ	オフ	39
63	液晶画面の鍵盤	LCD Key	1, 2	1	36
64	液晶画面のコントラスト	Contrast	1~17	9	7
65	オートパワーオフ	AutoOff	オン/オフ	オン	6
66	リセット	Reset			37
67	セッティングリセット	Setting	-	-	37
68	ファクトリーリセット	Factory	-	-	37

重要

- 音色などの各種設定は、本機の電源を入れなおすと初期値に戻ります(6ページ)。
- 電源を切っても、以下の設定は保存されます。
イコライザー、チューニング、レジストレーションメモリーフリーズターゲット、タップリズムスタート、液晶画面の鍵盤、液晶画面のコントラスト

鍵盤の音律(スケール)を変えてみる

下記の17種類のプリセットスケールから、好きなスケールを選ぶことができます。

設定値	スケール名	表示
01	平均律	Equal
02	純正律長調	PureMajr
03	純正律短調	PureMinr
04	ピタゴラス音律	Pythagor
05	キルンベルガー第三法	Kirnbrg3
06	ヴェルクマイスター 第1技法第3法	Wercmeis
07	ミーントーン(中全音律)	MeanTone
08	ラスト(Rast)	Rast
09	バヤティ(Bayati)	Bayati
10	ヒジャーズ(Hijaz)	Hijaz
11	サバ(Saba)	Saba
12	ダシュティ(Dashti)	Dashti
13	チャハルガー(Chahargah)	Chaharga
14	セガー(Segah)	Segah
15	グジャリ・トーディ(Gurjari Todi)	GujrTodi
16	チャンドラコونس (Chandrakauns)	Cndrkuns
17	チャルケシ(Charukeshi)	Carukesi

1. 23機能を押して、29(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“Scale”と表示させます。

Scale

2. 29(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。

01Type

3. 29(数字ボタン)、30[-]または[+]を押して、設定するスケールを選びます。

4. 29(数字ボタン)の[3](→)を押して、液晶画面に“Root”と表示させます。

01Root

5. 29(数字ボタン)、30[-]または[+]を押して、ルートを選びます。

6. 29(数字ボタン)の[5](戻る)を長押しして、設定を終了します。

設定したスケールで自動伴奏を鳴らしてみる

設定したスケールの音で自動伴奏を鳴らすことができます。

1. 23機能を押して、29(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“Scale”と表示させます。

Scale

2. 29(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。

3. 29(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を押して、液晶画面に“AcompScI”と表示させます。

AcompScI

4. 30[+]を押して、オンに設定します。

液晶画面の鍵盤表示

液晶画面の鍵盤表示を変更できます。34ページ「機能ボタン(23)で機能設定する」の機能番号63をご参照ください。

設定値	表示	内容
1	Type 1	通常は黒鍵が点灯し、弾いた黒鍵が消灯します。
2	Type 2	通常は黒鍵が消灯し、弾いた黒鍵が点灯します。

本機に記録されているデータをまとめて消去する

データや設定などシステムの内容をすべてリセットして、工場から出荷したときの状態に戻すことができます。

❗重要

- この消去を実行すると、ユーザーソングやユーザーリズム、レジストレーションデータ、録音した曲(30ページ)のデータも消去されます。大切なデータはパソコン(39ページ)に保存しておかれることをお勧めします。

1. **23**機能を押して、**29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“Other”と表示させます。
2. **29**(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。
3. **29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を使って液晶画面に“Reset”と表示させます。
4. **29**(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。
5. **29**(数字ボタン)の[2](←)または[3](→)を押して、液晶画面に“Factory”と表示させます。
6. **29**(数字ボタン)の[6](エンター)を押します。消去を確認する画面が表示されます。

Sure?

7. **80**[+] (はい)を押してください。実行した場合、画面に“Wait”と表示され、完了後自動的に本機が再起動します。
 - キャンセルするには、**80**[-] (いいえ)または**29**(数字ボタン)の[5](戻る)を押してください。

機能ボタンで設定した内容をまとめてリセットする

機能ボタンで設定した内容をすべて工場から出荷したときの状態に戻すことができます。

34ページ「機能ボタン(**23**)で機能設定する」の機能番号67をご参照ください。

他の外部機器と接続する

パソコンとつなぐ

本機とパソコンを接続して演奏情報(MIDIデータ)の送受信ができます。楽器演奏をパソコンの音楽ソフトで録音したり、パソコンから本機へデータを送って音を鳴らすことができます。

パソコンの動作環境

MIDIデータを送受信するために必要なパソコン環境は下記のとおりです。お手持ちのパソコン環境を必ず事前にご確認ください。

● 対応OS

Windows Vista ※1

Windows 7 ※2

Windows 8.1 ※3

Windows 10 ※4

macOS (OS X/Mac OS X) 10.7、10.8、10.9、10.10、10.11、10.12

※1 Windows Vista(32bit版)

※2 Windows 7(32bit版、64bit版)

※3 Windows 8.1(32bit版、64bit版)

※4 Windows 10(32bit版、64bit版)

● USB端子

❗重要

- 上記の対応OS以外のパソコンを接続すると、パソコンが故障する場合があります。絶対に接続しないでください。

🔍メモ

- 対応OSについての最新のサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。

<http://casio.jp/support/emi/>

接続方法

⚠ 重要

- 正しい手順で接続しないとデータの送受信ができなくなる場合があります。必ず次の手順に従って接続してください。

1. 本機の電源を切り、パソコンを起動させておきます。
 - パソコンの音楽ソフトは起動させないでください。
2. 市販のUSBケーブルで、パソコンと本機を接続します。
 - ケーブルは、USB2.0または1.1のA-Bコネクタタイプを使用してください。
3. 本機の電源を入れます。
 - 初めての接続では、データを送受信するために必要なドライバが自動でパソコンにインストールされます。
4. パソコンの音楽ソフト(市販品)を起動させます。
5. パソコンの音楽ソフト(市販品)の設定で、MIDIデバイスとして「CASIO USB-MIDI」を選びます。
 - MIDIデバイスの選択方法については、お使いの音楽ソフトのマニュアルをご覧ください。

⚠ 重要

- パソコンの音楽ソフトを起動させる前に、必ず本機の電源を入れておいてください。
- ソングの再生中(14ページ)は、データを送受信することができません。

各種MIDI設定

キーボードチャンネル

本機の鍵盤での演奏情報を、パソコンに送信するときに使うチャンネルを設定します。
設定方法は、34ページ「機能ボタン(28)で機能設定する」を参照してください。

ナビゲート機能

パソコンから本機へ送られる演奏情報の中で、特定のチャンネル(パート)の音だけを画面の表示でガイドさせることができます。このチャンネルのことをナビゲートチャンネルといいます。
設定方法は、34ページ「機能ボタン(28)で機能設定する」を参照してください。

■ナビゲート機能のオンオフ

ナビゲート機能をオフにすると、液晶画面のガイド表示はされません。

■右手ナビゲートチャンネル

右手パートのチャンネルを選択します。

■左手ナビゲートチャンネル

左手パートのチャンネルを選択します。

■ナビゲート機能でのレッスン

右手ナビゲートチャンネルおよび左手ナビゲートチャンネルで設定したチャンネルの音を消して、自分で弾くことができます。

設定値	表示	内容
1	Listen	右手、左手両パートの音が出るので、音を聞いて確認できます。
2	R Hand	右手パートの音が消えるので、右手パートを弾いて練習できます。
3	L Hand	左手パートの音が消えるので、左手パートを弾いて練習できます。
4	Both	両手パートの音が消えるので、両手の練習ができます。

ローカルコントロール

本機の鍵盤を弾いて外部音源の音を鳴らす場合に、本機で弾いた音が出ないように設定できます。
設定方法は、34ページ「機能ボタン(28)で機能設定する」を参照してください。

アカンブアウト

自動伴奏の演奏情報を送信するかどうかを設定できます。
設定方法は、34ページ「機能ボタン(28)で機能設定する」を参照してください。

本機のデータをパソコンに保存する/ 本機のソングや自動伴奏を増やす

録音した曲などのデータをパソコンに転送して保存したり、そのデータをいつでも本機に転送して戻すことができます。また一般的な楽曲MIDIファイル(SMF)や、カシオのホームページからダウンロードしたソングや自動伴奏のデータを本機に転送すれば、ソングバンク曲や自動伴奏を増やすこともできます。データの転送には、専用のアプリケーションソフト(データマネージャー)が必要です。

転送できるデータの種類について

本機はパソコンとの間で、下記のデータを転送できます。

データの種類	内容
ユーザーリズム (24ページ)	パソコンから読み込んだ自動伴奏データ
ユーザーソング (15ページ)	パソコンから読み込んだソングデータ (本機からパソコンへ送信することはできません)
録音した曲 (30ページ)	演奏を記録したデータ
レジストレーション (28ページ)	音色やリズムの設定を登録したデータ

データマネージャーをダウンロードする

1. 以下のホームページから、データマネージャーと操作マニュアルをダウンロードして、お手持ちのパソコンに保存します。

<http://casio.jp/support/emj/>

- 本機の製品紹介のページにデータマネージャーのページへのリンクが貼られています。製品紹介のページが見つからない場合は、上記ホームページの検索フォームに本機の製品名を入力して検索してください。
- ダウンロードする前に、データマネージャーを使用するために必要なパソコン環境などについて、必ずご確認ください。
- ホームページの内容は、予告なく変更される場合があります。

2. 手順1でダウンロードした操作マニュアルに従って、データマネージャーをインストールしてから、データ転送を行ってください。

- 自動伴奏データの機種互換性については、手順1でダウンロードしたデータマネージャーの操作マニュアルをご覧ください。

オーディオ機器とつなぐ

市販のステレオやアンプに接続して大きな音量で鳴らしたり、録音機器に接続して本機での演奏を録音したりできます。また、携帯オーディオプレーヤーなどの音を本機で鳴らしながら、それをバックに演奏して楽しむことができます。

本機の音を外部機器で鳴らす

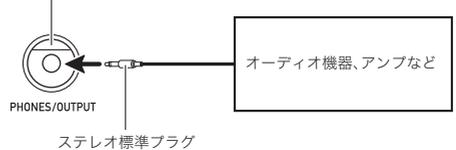
接続には市販の接続コードが使用できます。

- 片側がステレオ標準プラグ、もう一方は外部機器の入力端子に接続できるものをご用意ください。

重要

- 接続するときはすべての外部機器の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。
- 接続した後は本機、外部機器の順番で電源を入れてください。
- 外部機器で鳴らした本機の音が歪んだ音で聴こえる場合は、本機の音量を下げてください。

本機の **PHONES/OUTPUT** 端子



ステレオ標準プラグ

外部機器の音を本機で鳴らす

接続には市販の接続コードが使用できます。

- 片側がステレオミニプラグ、もう一方は外部機器の出力端子に接続できるものをご用意ください。

重要

- 接続するときは本機の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。
- 接続した後は外部機器、本機の順番で電源を入れてください。
- 本機で鳴らした外部機器の音が歪んだ音で聴こえる場合は、外部機器の音量を下げてください。

本機の **AUDIO IN** 端子



ステレオミニプラグ

センターキャンセル(ボーカルカット)

オンにすると、オーディオ入力端子から入力された音のボーカルをカット(消去、低減)します。センター定位の音をキャンセルする機能ですので、ボーカル以外の音もカットされる場合があります。効果の度合いは、入力する音によって異なります。設定方法は、34ページ「機能ボタン(28)で機能設定する」を参照してください。

困ったときは

状況	対策
付属品	
梱包箱のなかに付属品が見つからない。	緩衝材の中も探してみる。
電源	
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプターの接続状態や、電池の装着方向が正しいか確認する(5ページ)。 新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(5ページ)。
⏻ボタン(1)を押すと、液晶画面が一瞬点灯し、電源が入らない。	1をしっかり押し直してください。
大きな音を出すと、突然電源が切れる。	新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(5ページ)。
30分ほど弾かないでいると、突然電源が切れる。	オートパワーオフ機能を解除する(6ページ)。
表示	
液晶画面の表示が暗くなったり、ちらついたりするようになった。	新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(5ページ)。
液晶画面の鍵盤や楽譜表示で、音の表示が点灯したままになった。	ステップアップレッスンで、次の音の鍵盤が弾かれるのを待っている状態です。レッスンを停止させると、音の表示も消灯します(16ページ)。
液晶画面の表示が一定の方向からしか見えない。	本機の製造上の制約等によるもので、故障ではありません。
音	
鍵盤を弾いても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 音量の設定(6ページ)を変えてみる。 本機背面の43にプラグが差さっていないか確認する。 本機の電源を入れなおしてみる(6ページ)(各種設定は初期化されます)。
左側の鍵盤だけ音が出ない(あるいは通常と違う音が鳴る)。	9を押して、自動伴奏のコード入力ができる状態を解除する(20ページ)。
自動伴奏をスタートしても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> リズム番号の186~195は、コードを入力しないと音が鳴らないリズムパターンです。コードを入力してみてください(21ページ)。 伴奏の音量の設定(23ページ)を確認して調整する。 リズム番号の196~205は、ユーザーリズムが保存されていない場合には8を押しても自動伴奏がスタートしません(20ページ)。 本機の電源を入れなおしてみる(6ページ)(各種設定は初期化されます)。
ソングの自動演奏をスタートしても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ボタンを押してからソングが始まるまでに少し時間がかかります。ソングが始まるまで少しお待ちください。 曲の音量の設定(15ページ)を確認して調整する。 ソング番号の161~176は、ソングデータが保存されていない場合には8を押してもソングがスタートしません(15ページ)。 本機の電源を入れなおしてみる(6ページ)(各種設定は初期化されます)。
メトロノームの音が鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> メトロノームの音量の設定(34ページ)を確認して調整する。 本機の電源を入れなおしてみる(6ページ)(各種設定は初期化されます)。
音が鳴りっぱなしで止まらなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れなおしてみる(6ページ)(各種設定は初期化されます)。 新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(5ページ)。
鳴らしている音が途切れてしまう。	同時に鳴っている音の数が48(音色によっては24)を超えると発生します。故障ではありません。
音量や音質が変わってしまった。	<ul style="list-style-type: none"> 音量の設定(6ページ)やイコライザーの設定(11ページ)を変えてみる。 本機の電源を入れなおしてみる(6ページ)(各種設定は初期化されます)。 新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(5ページ)。

状況	対策
鍵盤を弾くタッチを変えても、出る音の音量が変わらない。	<ul style="list-style-type: none"> • タッチレスポンスの設定(7ページ)を変えてみる。 • 本機の電源を入れなおしてみる(6ページ)(各種設定は初期化されます)。
特定の鍵盤の音量や音質が、他の鍵域の鍵盤と若干違って聞こえる。	本機のシステムの制約等によるもので、故障ではありません。
端の方の鍵盤を弾いていると、同じオクターブの音が繰り返されるように聞こえる音色がある。	本機のシステムの制約等によるもので、故障ではありません。
音の高さが他の楽器とあわない(あるいは不自然に聞こえる)。	<ul style="list-style-type: none"> • トランスポーズ(12ページ)やチューニング(12ページ)の設定を確認して調整する。 • 本機の電源を入れなおしてみる(6ページ)(各種設定は初期化されます)。
音の響きが急に変わったように感じる。	<ul style="list-style-type: none"> • リバーブの設定(11ページ)を確認して調整する。 • 本機の電源を入れなおしてみる(6ページ)(各種設定は初期化されます)。
操作	
ソングの早送りや早戻しをすると、1小節ごとではなく何小節もまとめて移動してしまう。	ソングの停止中、またはステップアップレッスン中に早送りや早戻しをすると、フレーズ単位で移動します(14ページ)。
電源を入れなおすと、音色、リズムなどの設定が元に戻ってしまう。	本機では、電源を入れなおすと各種設定が初期化されます(6ページ)。いくつかの設定はレジストレーションに登録して保存することができます(28ページ)。
パソコンとの接続	
MIDIデータの送受信ができない。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機とパソコンがUSBケーブルで正しく接続されているか、あるいはパソコンの音楽ソフトの設定でデバイスが正しく選ばれているか確認する(38ページ)。 • 本機の電源を切ってパソコンの音楽ソフトを終了させてから、本機の電源を入れてパソコンの音楽ソフトを再起動させてみる。

エラー表示一覧

表示	原因	解決方法
Err Limit	1000小節以上録音しようとした。	999小節までで録音を終える。
Err Mem Full	1曲あたりの容量を超えて録音しようとした。	1曲あたりの容量内で録音する。
Err DataFull	曲を6曲以上録音しようとした。	曲を削除する。

製品仕様

型式	CT-X700
鍵盤	61鍵盤
タッチレスポンス機能	3種類、オフ
同時発音数	最大48音(一部音色では最大24音)
音色機能	
プリセット音色	600音色
その他	レイヤー、スプリット、ピアノ/オルガンボタン
リバーブ機能	20種類、オフ
コーラス機能	10種類、トーン
メトロノーム機能	
拍子	0~9拍子
テンポ	20~255
ソングバンク機能	
デモ専用曲	1曲
内蔵曲	160曲
ユーザーソング	10曲※1
ユーザー録音曲	6曲(録音機能参照)※1
ステップアップレッスン機能	
レッスンの種類	3種類(レッスン1/2/3)、らくらくモード
レッスンパート	左手、右手、両手
その他	リピート、運指音声、弾くべき音のガイド、採点
自動伴奏機能	
プリセットリズム	195種類
ユーザーリズム	10種類※2
コードブック機能	コード音のガイド
レジストレーション機能	最大32セット(4セット×8バンク)
録音機能	
リアルタイム録音、再生	
鍵盤演奏録音	5曲、6トラック
ソングバンク曲にあわせての録音	1曲(左手、右手、両手)
メモリー容量	約40,000音符(1曲あたり)
その他の機能	
トランスポーズ	±1オクターブ(-12 ~ 0 ~ +12半音)
オクターブシフト	アッパー1/アッパー2/ロワー、±3オクターブ
チューニング	A4=415.5 ~ 465.9Hz(初期値: 440.0Hz)
スケール	プリセットスケール17種類
ミュージックプリセット	310種類
ワンタッチプリセット	195種類
オートハーモナイズ	12種類
アルペジエーター	100種類
MIDI機能	16chマルチティンバー受信、GMレベル1準拠
ミュージカルインフォメーション機能	音色・自動伴奏・ソングバンクの番号および名称、五線譜、運指、ペダル、テンポ、小節数・拍子、コード名等

※1 1曲あたりの最大容量:約320キロバイト

※2 1リズムあたりの最大容量:約64キロバイト
(1キロバイト=1024バイト)

端子	
USB端子	タイプB
ペダル端子	標準ジャック(サステイン、ソステヌート、ソフト、リズム)
ヘッドホン/アウトプット端子	ステレオ標準ジャック 出カインピーダンス:167Ω、出力電圧:4.5V(RMS)MAX
オーディオ入力端子	ステレオミニジャック 入カインピーダンス:10kΩ、入力感度:200mV
電源端子	DC9.5V
電源	2電源方式
電池	単3形アルカリ乾電池6本使用
電池持続時間	約3時間
家庭用AC100V電源	ACアダプターAD-E95100L使用
オートパワーオフ機能	約30分後、キャンセル可能
スピーカー	12cm×2(出力2.5W+2.5W)
消費電力	9.5V ≡ 7.5W
サイズ幅	幅94.8×奥行35.0×高さ10.9cm
質量	約4.3kg(乾電池含まず)

- 改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更することがあります。

ソングリスト

ソングバンク

番号	曲名
世界の曲 (カテゴリー：01)	
001	きらきら星
002	ちょうちょう
003	ロング・ロング・アゴー
004	オン・トップ・オブ・オールド・スモーキー
005	さくら さくら
006	聖者の行進
007	アメイジング・グレイス
008	ぼたるの光
009	ぶんぶんぶん
010	かわいいオーガスチン
011	こげよマイケル
012	ダニー・ボーイ
013	マイ・ポニー
014	埴生の宿
015	オーラ・リー
016	峠の我が家
017	アロハ・オエ
018	サンタ・ルチア
019	ふるさと
020	グリーンズリーブス
021	ジェリコの戦い
022	パン屋さん
023	ロンドン橋
024	大きな栗の木の下で
025	森のくまさん
026	大きな古時計
027	アニー・ローリー
028	夢路より
029	しあわせなら手をたたこう
030	愛しのクレメンタイン
031	茶色のこびん
032	朝日のあたる家
033	黄色いリボン
034	アルプス一万尺
035	ケンタッキーの我が家
036	森へ行きましょう
037	トロイカ
038	ワルツィング・マチルダ
039	アピニョンの橋で
040	線路は続くよどこまでも
041	おお スザンナ
042	草競馬
043	金髪のジェニー
044	わらの中の七面鳥
045	さらばジャマイカ
イベント (カテゴリー：02)	
046	きよしこの夜
047	おめでとうクリスマス
048	ジングル・ベル
049	もるびとこそりて
050	もみの木
ピアノ/クラシック (カテゴリー：03)	
051	メリーさんのひつじ
052	白鳥「動物の謝肉祭」より
053	ジュ・トゥ・ヴ
054	ソナタ 作品13「悲愴」第2楽章
055	野ばら
056	G線上のアリア
057	春「四季」より

番号	曲名
058	ハバネラ 歌劇「カルメン」より
059	乾杯の歌 歌劇「椿姫」より
060	ハンガリー舞曲 第5番
061	ト長調のメヌエット
062	二長調のミュゼット
063	ト長調のエコセーズ
064	ガボット (ゴセック)
065	アラベスク (ブルクミュラー)
066	チョップスティックス
067	ひいらぎかざろう
068	喜びの歌
069	アヴェ・マリア (グノー)
070	ソナチネ 作品36の1 第1楽章
071	プレリュード 作品28の7 (ショパン)
072	夢
073	ジムノディ 第1番
074	家路「新世界から」より
075	婚礼の合唱「ローエングリン」より
076	エリーゼのために
077	トルコ行進曲 (モーツァルト)
078	ソナタ 作品27の2「月光」第1楽章
079	別れの曲
080	エンターテイナー
081	結婚行進曲「真夏の夜の夢」より
082	アメリカン・パトロール
083	楽しき農夫
084	すみれ
085	紡ぎ歌
086	貴婦人の乗馬
087	ソナチネ 作品20の1 第1楽章
088	ソナタ K.545 第1楽章
089	乙女の祈り
090	小犬のワルツ
091	愛の夢 第3番
092	ガボット「フランス組曲 第5番」より
093	主よ、人の望みの喜びよ
094	カノン (パッヘルベル)
095	セルナード「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より
096	行進曲「くるみ割り人形」より
097	闘牛士の歌 組曲「カルメン」より
098	ラルゴ (ヘンデル)
099	無邪気
100	プロムナード「展覧会の絵」より
101	インヴェンション 第1番
102	プレリュード 第1番 (J.S. バッハ)
103	人形の夢と目覚め
104	亜麻色の髪の乙女
105	ユーモレスク (ドヴォルザーク)
106	トロイメライ
107	ノクターン 作品9の2 (ショパン)
108	アラベスク 第1番 (ドビュッシー)
109	メーブル・リーフ・ラグ
110	ハ調のメロディ
脳にキク (カテゴリー：04)	
111~160	脳にキク 1~50
ユーザーソング (カテゴリー：05)	
161~170	ユーザーソング 1~10
ユーザー録音 (カテゴリー：06)	
171~176	ユーザー録音 1~6

ドラム音色リスト

音名	ノート ナンバー	DRUMS SET NAME									
		STANDARD SET 1	STANDARD SET 2	STANDARD SET 3	STANDARD SET 4	STANDARD SET 5	DANCE SET 1	DANCE SET 2	DANCE SET 3		
C-1	0	Tabla Ga							Dance1 Kick 1		
D-1	C4-1	Tabla Ka							Dance1 Kick 2		
E-1	B-1	Tabla Ta							Dance1 Kick 3		
F-1	4	Tabla Tun							Dance1 Kick 4		
F-1	6	Dholak Ga							Dance1 Kick 5		
G-1	7	Dholak Ke							Dance1 Snare 1		
A-1	8	Dholak Ta							Dance1 Snare 2		
B-1	9	Dholak Ta 3							Dance1 Snare 3		
B-1	10	Dholak Ring							Dance1 Snare 4		
C0	11	Mridangam Dh							Dance1 Snare 5		
C0	C0	Mridangam Num							Dance1 Snare 6		
D0	12	Mridangam Dh							Dance1 Snare 7		
E0	B0	Mridangam Num							Dance1 Snare 8		
F0	F0	17							Techno Snare		
G0	18	19							Hip-Hop Rim Shot		
A0	A0	20							Hip-Hop Snare 3 Rev.		
B0	21	22							DM2 Kick 1 Rev.		
C1	23	24							Relese Cymbal Gate		
D1	C1	25							Hip-Hop Snare 4 Gate		
E1	26	27							Hip-Hop Snare 5 Gate		
F1	28	29							Techno Snare Gate		
G1	F1	30							Hip-Hop Side Stick Gate		
A1	31	32							Hand Clap 2 Gate		
B1	33	34									
C2	C2	35									
D2	36	37									
E2	B2	38									
F2	39	40									
G2	F2	41									
A2	42	43									
B2	44	45									
C3	B2	46									
D3	C3	47									
E3	48	49									
F3	50	51									
G3	B3	52									
A3	53	54									
B3	55	56									
C4	B3	57									
D4	C4	58									
E4	59	60									
F4	61	62									
G4	B4	63									
A4	64	65									
B4	66	67									
C5	B4	68									
D5	69	70									
E5	71	72									
F5	C5	73									
G5	74	75									
A5	B5	76									
B5	77	78									
C6	79	80									
D6	B6	81									
E6	82	83									
F6	84	85									
G6	F6	86									
A6	B6	87									
B6	88	89									
C7	90	91									
D7	A6	92									
E7	93	94									
F7	95	96									
G7	B7	97									
A7	98	99									
B7	100	101									
C8	F7	102									
D8	A7	103									
E8	B7	104									
F8	105	106									
G8	107	108									
A8	C8	109									
B8	110	111									
C9	B8	112									
D9	113	114									
E9	F8	115									
F9	A8	116									
G9	B8	117									
A9	118	119									
B9	C9	120									
C9	B9	121									
D9	122	123									
E9	124	125									
F9	126	127									
G9	128	129									

※「←」の鍵盤は、STANDARD SET 1と同じ音です。

音名	ノート ナンバー	DRUMS SET NAME									
		DANCE SET 4	DANCE SET 5	DANCE SET 6	TRANCE SET	HIP-HOP SET	ROOM SET	POWER SET	ROCK SET		
C-1	0	Dance1 Kick 1									
D-1	Cc-1	1	Dance1 Kick 2								
	2	Dance1 Kick 3									
E-1	3	Dance1 Kick 4									
	4	Dance1 Kick 5									
F-1	5	Dance1 Snare 1									
G-1	Fa-1	6	Dance1 Snare 2								
	7	Dance1 Snare 3									
A-1	8	Dance1 Snare 4									
	9	Dance1 Snare 5									
B-1	10	Dance1 Snare 6									
C0	11	Dance1 Snare 7									
	12	Dance1 Snare 8									
D0	E0	13	Dance1 Snare 9								
	14	Dance1 Tambourine									
E0	F0	15	Hip-Hop Snare 3								
	16	Techno Snare									
F0	17	Hip-Hop Rim Shot									
	18	Hip-Hop Snare 3 Rev									
G0	A0	19	Hip-Hop Snare 3 Gate		Dance6 Rev Snare						
	20	DM2 Kick 1 Rev			Dance6 Open Hi-Hat 1						
A0	21	Reverse Cymbal Gate			Dance6 Crash 1						
B0	Bk0	22	Dance6 Snare Rev		Dance6 SE Noise						
	23	Dance6 Open Hi-Hat Rev			Dance6 Noise Down						
C0	24	Techno Snare Gate		Dance6 GateSnare							
C1	25	Hip-Hop Side Stick Gate	Dance6 Kick 2		Dance6 SE Exp.						
D1	E1	26	Hand Clap 2 Gate		Dance6 Open Hi-Hat 2						
	27										
E1	28										
F1	29	Dance6 Scratch Push		Dance6 GateSnare							
G1	30	Dance6 Scratch Pull									
	31	Standard2 Sticks			Standard2 Sticks	Standard2 Sticks	Standard2 Sticks	Standard2 Sticks			
A1	32										
B1	33										
	34										
C2	35	Dance6 Kick 2	Dance6 Kick 1	Dance6 Kick 1	Dance6 Kick 2	Hip-Hop Kick 2	Room Kick 2	Power Kick 2	Rock Kick 2	Rock Kick 2	
	36	Dance6 Kick 1	Dance6 Kick 2	Dance6 Kick 3	Dance6 Kick 2	Hip-Hop Kick 1	Room Kick 1	Power Kick 1	Rock Kick 1	Rock Kick 1	
D2	C2	37	Dance6 Hand Clap 1	Dance6 Snare 1	Dance6 Snare 2	Trance Side Stick	Hip-Hop Side Stick	Standard2 Side Stick	Standard2 Side Stick		
	38	Dance6 Hand Clap 2	Dance6 Snare 2	Dance6 Snare 3	Dance6 Snare 1	Hip-Hop Snare 1	Room Snare 1	Power Snare 1	Rock Snare 1		
E2	B2	39	Dance6 Hand Clap 3	Dance6 Clap	Dance6 Rev Snare 1	Trance Hand Clap	Hip-Hop Hand Clap				
	40	Dance6 Snare 2	Dance6 Snare 3			Hip-Hop Snare 2	Room Snare 2	Power Snare 2	Rock Snare 2	Rock Snare 2	
F2	41	Dance6 Low Tom 2	DM1 Low Tom 1			Standard3 Low Tom 2	Room Low Tom 2	Room Low Tom 2	Room Low Tom 2	Room Low Tom 2	
G2	A2	42	Dance6 Closed Hi-Hat 1	Dance6 Closed Hi-Hat	Dance6 Closed Hi-Hat 1	Trance Closed Hi-Hat	Hip-Hop Closed Hi-Hat	Room Closed Hi-Hat	Room Closed Hi-Hat	Room Closed Hi-Hat	
	43	Dance6 Open Hi-Hat 1	Dance6 Open Hi-Hat 2	DM1 Low Tom 1		Standard3 Low Tom 1	Room Low Tom 1	Room Pedal Hi-Hat	Room Pedal Hi-Hat	Room Pedal Hi-Hat	
A2	B2	44	Dance6 Mid Tom 2	DM1 Mid Tom 2			Hip-Hop Pedal Hi-Hat	Room Pedal Hi-Hat	Room Pedal Hi-Hat	Room Pedal Hi-Hat	
	45	Dance6 Mid Tom 1	DM1 Mid Tom 1	Dance6 Open Hi-Hat 1	Standard3 Mid Tom 2	Standard3 Mid Tom 2	Room Mid Tom 2	Room Mid Tom 2	Room Mid Tom 2	Room Mid Tom 2	
C3	C3	46	Dance6 High Tom 2	DM1 High Tom 2			Standard3 High Tom 2	Room High Tom 2	Room High Tom 2	Room High Tom 2	
	47	Dance6 High Tom 1	DM1 High Tom 1	Dance6 Crash 2	Standard3 High Tom 1	Standard3 High Tom 1	Room High Tom 1	Room High Tom 1	Room High Tom 1	Room High Tom 1	
D3	E3	48	Dance6 Crash Cymbal 1	DM1 Crash Cymbal			Standard3 Crash Cymbal 1	Room Crash Cymbal 1	Room Crash Cymbal 1	Room Crash Cymbal 1	
	49	Dance6 Crash 2	DM1 Crash Cymbal			Standard3 Crash Cymbal 2	Room Crash Cymbal 2	Room Crash Cymbal 2	Room Crash Cymbal 2	Room Crash Cymbal 2	
E3	F3	50	Standard3 Ride Cymbal 1	DM1 Ride Cymbal			Standard3 Ride Cymbal 1	Room Ride Cymbal 1	Room Ride Cymbal 1	Room Ride Cymbal 1	
	51	Standard3 Ride Cymbal 2	DM1 Ride Cymbal			Standard3 Ride Cymbal 2	Room Ride Cymbal 2	Room Ride Cymbal 2	Room Ride Cymbal 2	Room Ride Cymbal 2	
F3	G3	52	Standard3 China Cymbal	Standard3 China Cymbal			Standard3 China Cymbal	Room China Cymbal	Room China Cymbal	Room China Cymbal	
	53	Standard3 Ride Bell	Standard3 Ride Bell			Standard3 Ride Bell	Room Ride Bell	Room Ride Bell	Room Ride Bell	Room Ride Bell	
G3	A3	54	Standard3 Splash Cymbal	Standard3 Splash Cymbal			Standard3 Splash Cymbal	Room Splash Cymbal	Room Splash Cymbal	Room Splash Cymbal	
	55	Standard3 Splash Cymbal	Standard3 Splash Cymbal	Dance6 Filter Hi-Hat L		Standard3 Splash Cymbal	Room Splash Cymbal	Room Splash Cymbal	Room Splash Cymbal	Room Splash Cymbal	
A3	Bk3	56	Standard3 Crash Cymbal 2	Standard3 Crash Cymbal 2			Standard3 Crash Cymbal 2	Room Crash Cymbal 2	Room Crash Cymbal 2	Room Crash Cymbal 2	
	57			Dance6 Filter Hi-Hat R		Standard3 Crash Cymbal 2	Room Crash Cymbal 2	Room Crash Cymbal 2	Room Crash Cymbal 2	Room Crash Cymbal 2	
B3	58					Standard3 Ride Cymbal 2	Room Ride Cymbal 2	Room Ride Cymbal 2	Room Ride Cymbal 2	Room Ride Cymbal 2	
	59					Standard3 Ride Cymbal 2	Room Ride Cymbal 2	Room Ride Cymbal 2	Room Ride Cymbal 2	Room Ride Cymbal 2	
C4	60	Dance6 Kick 4	Standard3 Ride Cymbal 2			Standard3 Ride Cymbal 2	Room Ride Cymbal 2	Room Ride Cymbal 2	Room Ride Cymbal 2	Room Ride Cymbal 2	
	61	Dance6 Kick 3	Dance6 SFX Sound 1	Wobble 1							
D4	62	Dance6 Hand Clap 3	Dance6 SFX Sound 2								
	63	Dance6 Hand Clap 4	Dance6 SFX Sound 3								
E4	64	Dance6 Hand Clap 5	Dance6 SFX Sound 4								
	65	Dance6 Snare 3	Dance6 SFX Sound 5	Wobble 3							
F4	66	DM1 Low Tom 2	Dance6 SFX Sound 6	Wobble 4							
	67	Dance6 Closed Hi-Hat 3	Dance6 SFX Sound 7								
G4	A4	68	DM1 Low Tom 1	Dance6 SFX Sound 8	Dance6 Closed Hi-Hat 2						
	69	Dance6 Closed Hi-Hat 2	Dance6 SFX Sound 9								
A4	B4	70	DM1 Mid Tom 2	Dance6 SFX Sound 10	Dance6 Open Hi-Hat 3						
	71	DM1 High Tom 2	Dance6 SFX Sound 11	Dance6 Open Hi-Hat 2							
B4	C4	72	DM1 Mid Tom 1	Dance6 SFX Sound 12	Dance6 SFX Sound 13	Cabassa 2					
	73	DM1 High Tom 1	Dance6 SFX Sound 14	Dance6 SE Snare	Dance6 SE Noise	Marcass 2					
C5	74	DM1 High Tom 2	Dance6 SFX Sound 15	Dance6 SE Snare	Dance6 SE Noise						
	75	DM1 High Tom 1	Dance6 SFX Sound 16	Dance6 SE Rev Snare							
D5	E5	76	Standard3 China Cymbal	Dance6 SFX Sound 17	Dance6 Noise Down						
	77	Standard3 Ride Bell	Dance6 SFX Sound 18	Dance6 GateSnare							
E5	F5	78	DM1 Tambourine	Dance6 SFX Sound 19	Dance6 Rev Snare						
	79	Standard3 Splash Cymbal	DM1 Tambourine	Dance6 SE Exp.							
F5	G5	80	Standard3 Splash Cymbal	DM1 Cowbell							
	81	Standard3 Crash Cymbal 2	Dance6 SFX Sound 22	Dance6 SE Rev Snare 2							
G5	A5	82	Vibraslap	Dance6 SFX Sound 23							
	83	DM1 Kick 3	Dance6 SFX Sound 24								
C6	C6	84	Dance6 Kick 5	Dance6 SFX Sound 25	Dance6 Kick 3						
	85	Dance6 Kick 1	Dance6 SFX Voice 1								
D6	D6	86	Dance6 Snare 1	Dance6 SFX Voice 2	Dance6 Snare 3						
	87	Dance6 Hand Clap 6	Dance6 SFX Voice 3	Dance6 Clap							
E6	E6	88	Dance6 Snare 2	Dance6 SFX Voice 4							
	89	Elec.Low Tom 2	Dance6 SFX Voice 5								
F6	F6	90	Dance6 Closed Hi-Hat 5	Dance6 SFX Voice 6	Dance6 Closed Hi-Hat 4						
	91	Elec.Low Tom 1	Dance6 SFX Voice 7								
G6	A6	92	Dance6 Closed Hi-Hat 6	Dance6 SFX Voice 8							
	93	Elec.Low Tom 2	Elec.Low Tom 2	VL Snare							
A6	B6	94	Dance6 Open Hi-Hat 3	VL Ping	Dance6 Noise Hi-Hat						
	95	Elec.Mid Tom 2									
B6	C7	96	Elec.High Tom 2								
	97	Techno Cymbal									
C7	D7	98	Elec.High Tom 1								
	99	Techno Ride									
D7	E7	100									
	101	Standard3 Low Tom 2									
F7	F7	102	Room Closed Hi-Hat								
	103	Standard3 Low Tom 1									
G7	A7	104	Room Pedal Hi-Hat								
	105	Standard3 Mid Tom 2									
A7	B7	106	Room Open Hi-Hat								
	107	Standard3 Mid Tom 1									
B7	C8	108	Standard3 High Tom 2								
	109	Standard3 Crash Cymbal 1									
C8	D8	110	Standard3 High Tom 1								
	111	Standard3 Ride Cymbal 1									
E8	E8	112									
	113	Tambourine 2									
F8	F8	114	Tambourine 3								
	115	Cabassa 2									
G8	A8	116	Marcass 2								
	117	Claves 2									
A8	B8	118	Mute Triangle 2								
	119	Open Triangle 2									
B8	C9	120	Shaker 2								
	121	Hand Clap									
C9	D9	122	Hand Clap 2								
	123										
E9	E9	124									
	125										
F9	F9	126									
	127										

※◀*の鍵盤は、STANDARD SET 1と同じ音です。

音名	ノート ナンバー	DRUMS SET NAME			
		SNARE SET 2	KICK SET	CYMBAL SET	TOM SET
C-1	0				
D-1	C-1				
E-1	E-1				
F-1	F-1				
G-1	G-1				
A-1	A-1				
B-1	B-1				
C0	C0				
D0	D0				
E0	E0				
F0	F0				
G0	G0				
A0	A0				
B0	B0				
C1	C1				
D1	D1				
E1	E1				
F1	F1				
G1	G1				
A1	A1				
B1	B1				
C2	C2				
D2	D2				
E2	E2				
F2	F2				
G2	G2				
A2	A2				
B2	B2				
C3	C3				
D3	D3				
E3	E3				
F3	F3				
G3	G3				
A3	A3				
B3	B3				
C4	C4				
D4	D4				
E4	E4				
F4	F4				
G4	G4				
A4	A4				
B4	B4				
C5	C5				
D5	D5				
E5	E5				
F5	F5				
G5	G5				
A5	A5				
B5	B5				
C6	C6				
D6	D6				
E6	E6				
F6	F6				
G6	G6				
A6	A6				
B6	B6				
C7	C7				
D7	D7				
E7	E7				
F7	F7				
G7	G7				
A7	A7				
B7	B7				
C8	C8				
D8	D8				
E8	E8				
F8	F8				
G8	G8				
A8	A8				
B8	B8				
C9	C9				
D9	D9				
E9	E9				
F9	F9				
G9	G9				

※*←*の鍵盤は、STANDARD SET 1と同じ音です。

指定できるコード種一覧

フィンガード1、2で指定できるコード種

C (メジャー)				
Cm (マイナー)				
Cdim (ディミニッシュ)				
Caug (オーギュメント) ^{※3}				
C [♭] (フラットフィス)				
Csus4 (サスフォー) ^{※3}				
Csus2 (サスツー) ^{※3}				
C7 (セブンス)				
Cm7 (マイナーセブンス) ^{※3}				
CM7 (メジャーセブンス)				
CmM7 (マイナーメジャーセブンス)				
Cdim7 (ディミニッシュセブンス) ^{※3}				
CdimM7 (ディミニッシュメジャーセブンス)				
C7 [♭] 5 (セブンスフラットフィス) ^{※3}				
Cm7 [♭] 5 (マイナーセブンスフラットフィス) ^{※3}				
CM7 [♭] 5 (メジャーセブンスフラットフィス)				
Caug7 (オーギュメントセブンス)				
CaugM7 (オーギュメントメジャーセブンス)				
C7sus4 (セブンスサスフォー)				
C6 (シックス) ^{※1 ※3}				
Cm6 (マイナーシックス) ^{※2 ※3}				
Cadd9 (アドナインズ)				

Cmadd9 (マイナーアドナインズ)	
C69 (シックスナインズ) ^{※3}	
Cm69 (マイナーシックスナインズ) ^{※3}	

- ※1 フィンガード2では、Am7として判別されます。
 ※2 フィンガード2では、Am7[♭]5として判別されます。
 ※3 転回形では使えない場合があります。

フィンガードオンベース、フルレンジコードで指定できるコード種

フィンガード1、2で指定できるコード種に加え、下記のコード種が判別できます。

C [♯] C	D C	F C	F [♯] C	G C	A [♭] C	A C	B [♭] C	C [♯] m C	Dm C	Fm C
F [♯] m C	Gm C	A [♯] m C	Am C	B [♯] m C	Bm C	C [♯] dim C	Ddim C			
Fdim C	F [♯] dim C	Gdim C	A [♯] dim C	Adim C	Bdim C	F7 C	A [♭] 7 C			
Fm7 C	FM7 C	A [♯] M7 C	F [♯] m7 [♭] 5 C	Gm7 C	G7 C	A [♭] add9 C				

メモ

- フィンガードオンベースでは、最低音がベース音として判別され、転回形は使えません。
- フルレンジコードでは、最低音とその次の音がある程度離れている場合に、分数コードとして判別されます。
- フルレンジコードではフィンガード1、フィンガード2、フィンガードオンベースと異なり、鍵盤を3つ以上押したときに限りコードが指定されます。

コード例一覧

*1 *2	C	C [#] (D ^b)	D	(D ^b)/E [#]	E	F	F [#] (G ^b)	G	(G [#])/A ^b	A	(A [#])/B ^b	B
M												
m												
dim												
aug												
sus4												
sus2												
7												
m7												
M7												
m7 ^{#5}												
7 ^{#5}												
7sus4												
add9												
madd9												
mM7												
dim7												
69												
6												
m6												

*1 根音 (ルート) *2 コードの種類

• スプリットポイントを変更して、コード入力鍵盤の範囲を変えられます (11ページ)。

72 73 74 75 76 77 78 84 91 93 94 100, 101	× *4 × *4 × *4 × × × × × *4 × *4 × *4 × *2*4	○○○○○○○○○○○ ^{*2}	リリース・タイム アタック・タイム フェルター・カットオフ アウター・タイム ピッチ・ベンド ピッチ・ベンド・タイム ポリ・タイム・コントロール リハーブ・セメント・レベル コーラス・セメント・レベル RPN LSB, MSB
プログラムチェンジ 設定可能範囲	○ 0 ~ 127 *****	○ 0 ~ 127	
エクスクルーシブ	○ *2	○ *2	
ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	× ×	× ×	
その他 オールサウンドオフ リセットオールコントロール ローカル オン/オフ オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× *4 × *4 × × ○ ×	○ ○ × ○ ○ ×	
備考	*1: 音色による *2: 送受信対応 RPN, システム・エクスクルーシブ・メッセージの詳細は MIDI Implementation (http://casio.jp/support/emi/) 参照 *3: ペダルの設定により択一 *4: 一部の操作に付随して出力		

モード1: オムニ・オン、ポリ
モード3: オムニ・オフ、ポリ

モード2: オムニ・オン、モノ
モード4: オムニ・オフ、モノ

○ : あり
× : なし

CASIO®

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

© MA1710-A Printed in China



CTX700-JA-1A

© 2017 CASIO COMPUTER CO., LTD.